

2018.06.10

公益社団法人 全国助産師教育協議会

現行の助産師教育（1年以上・28単位以上）におけるコアカリキュラム 2018（案）

大学院における助産師教育のモデル・コアカリキュラム 2018（案）

## 説明会資料

公益社団法人 全国助産師教育協議会

現行の助産師教育（1年以上・28単位以上）

におけるコアカリキュラム 2018（案）

公益社団法人 全国助産師教育協議会

大学院における助産師教育の  
モデル・コアカリキュラム 2018（案）

教育検討委員会教育推進班

## 目 次

1.	現行の助産師教育（修業年限1年以上・28単位以上）におけるコアカリキュラムの考え方	2
2.	現行の助産師教育におけるコアカリキュラムの概要	3
3.	助産師に求められる資質・能力 (現行の助産師教育修了者に求められる資質・能力)	5
4.	現行の助産師教育におけるコアカリキュラム策定までの経緯	7
5.	現行助産師教育におけるコアカリキュラム	
A..	助産師として求められる基本的な資質・能力	9
B.	社会と助産学	18
C.	ローリスク妊娠婦・新生児とその家族の診断とケア	23
D.	ハイリスク妊娠婦・新生児とその家族の診断とケア	33
E.	多様な場とライフステージに応じた助産診断とケア	53
F.	助産学実習	59
G.	助産学研究	73

## 目 次

1. 大学院における助産師教育モデル・コアカリキュラムの考え方	2
2. 大学院における助産師教育モデル・コアカリキュラムの概要	3
3. 助産師に求められる資質・能力 (大学院教育修了者に求められる資質・能力)	5
4. 「大学院における助産師教育モデル・コアカリキュラム」策定までの 経緯	7
5. 大学院における助産師教育のモデル・コアカリキュラム	
A. 助産師として求められる基本的な資質・能力	9
B. 社会と助産学	18
C. ローリスク妊産婦・新生児とその家族の診断とケア	23
D. ハイリスク妊産婦・新生児とその家族の診断とケア	33
E. 多様な場とライフステージに応じた助産診断とケア	53
F. 助産学実習	59
G. 助産学研究	73

## 1. 現行の助産師教育（修業年限 1 年以上・28 単位以上の教育、以下、現行助産師教育）におけるコアカリキュラムの考え方

わが国の助産師養成については、助産師教育機関が多岐にわたっている現状にあるが、どの教育機関においても修了時に助産師として相応しい基本的な資質や能力を身につけさせる教育を行なうことが求められる。そこで、学生の助産師教育修了時の資質や能力の質保証として、本コアカリキュラムを策定した。助産師養成機関における助産師教育において共通して取り組むべきコアとなる内容を抽出し、その内容を精選し、助産師養成機関におけるカリキュラム作成の参考となるよう学修目標を列挙した。

本コアカリキュラムは、助産師教育の充実と社会に対する質保証に資するため、学生が助産師教育修了時までに身に付けておくべき必須の助産実践能力について、その修得のために必要な具体的な学修目標を、助産師教育機関関係者をはじめ母子やその家族、女性を含む国民に対して提示することを目的として策定したものである。

今回、コアカリキュラムの策定に当たり、医学・歯学・薬学・看護学のモデル・コア・カリキュラムと同様の様式を整えることを心がけた。これは、平成 28 年度に行われた医学教育や歯学教育のモデル・コア・カリキュラム改訂においても、他職種との整合性を図ることの重要性が指摘されているところであり、臨床場面における役割の明確化や柔軟な連携協力に資するものであることを考慮したからである。ただし、看護教育すでに習得しているはずの資質・能力について、助産師教育においても重要であるとしたものについては、列挙した。

本コアカリキュラムは、カリキュラムの枠組みを規定するものではなく、授業科目等の設定、教育手法、履修順序等を含めカリキュラムの編成は各助産師教育機関の判断により行うものである。各助産師教育機関においては、カリキュラムの編成や評価の過程において、今回示した学修目標を参考として活用することを期待する。

本コアカリキュラムは、助産実践能力の修得を目指して具備すべき知識や能力の内容に関する具体的な学修目標を提示したものであり、学修目標を達成するための教育方法や評価については各助産師教育機関において取り組みを進めていくものとする。

助産師教育の背景として医学・生命科学等に関わる科学技術の進歩は著しく、科学を基盤として医療に貢献する助産師の職責に求められる助产学の知識や技能は増え、専門性は高度化している。助産師教育のグローバルスタンダードも ICM において提示されている。それらを踏まえ、本コアカリキュラムは必要に応じて見直しを行い、改訂することが必要である。

なお、今回提示する「現行助産師教育におけるコアカリキュラム」は、ここに示したすべての内容を教育していただきたいという意味で、「モデル」という語は用いず、コアカリキュラムと表記している。現在、将来構想委員会では「望ましい助産師教育」のカリキュラムを検討しているが、その際は「望ましい助産師教育におけるモデル・コアカリキュラム」を示す予定である。

## 1. 大学院における助産師教育モデル・コアカリキュラムの考え方

大学における社会の要請に応える人材育成のカリキュラムの構築は、大学が理念や特色に基づいて設定すべきものである。わが国の助産師養成については、助産師教育機関が多岐にわたっている現状にあるが、どの教育機関においても修了時に助産師として相応しい基本的な資質や能力を身につけさせる教育を行なうことが求められる。

大学院（修士課程・専門職学位課程における）看護系高度専門職業人養成の在り方に関する検討（2010年10月）において、高度専門職業人の特質については、「深い知的学識、国際的に通用する専門知識・能力、職能団体等により職業的専門領域の基礎が確立している職業に就くもの」と、その人材像を提示している。

看護系高度専門職業人養成検討の背景として医学・生命科学等に関わる科学技術の進歩は著しく、科学を基盤として医療に貢献する看護職者、助産師の職責に求められる助産学の知識や技能は増え、専門性は高度化している。看護教育を終了した学生が助産師の基本的な資質と能力を修得し、生涯にわたって常に研鑽し、社会に貢献することが求められることから教育の充実と、社会的ニーズへの対応は継続的今日的な課題といえる。大学院修士課程における助産師教育のモデル・コアカリキュラムは、その教育内容を精選し、修了時までに学生が修得すべき助産実践能力の教育内容に関する具体的な学修目標を提示したものである。助産実践能力を強化する教育方法や評価等の確立については、各大学において取り組みを進めていくものとする。

## 2. 現行助産師教育におけるコアカリキュラムの概要

### A. 助産師として求められる基本的な資質・能力

プロフェッショナリズム、助産にまつわる知識と問題解決能力、助産師としての技能と助産ケア、多職種と協働と女性等との協働、コミュニケーション能力、助産師が行う医療安全と危機管理能力、科学的探究、生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢とキャリア開発の 8 項目からなる。

### B. 社会と助産学

助産・出産の歴史、母子と家族を支える地域や文化、社会システムと健康、社会における助産師の法的役割と責任の 4 項目からなる。

### C. ローリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア

正常な妊娠経過、分娩経過、産褥経過、および新生児・乳幼児の診断とケアの 4 項目からなる。

### D. ハイリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア

ハイリスク妊娠、分娩、産褥経過の助産診断とケア、ハイリスク新生児の成熟・胎外生活適応の診断とケア、社会的ハイリスクのある妊娠褥婦とその家族の助産診断とケアの 3 項目からなる。

### E. 多様な場とライフステージに応じた助産診断とケア

地域母子保健、ライフステージにおけるウイメンズヘルスケアの 2 項目からなる。

### F. 助産学実習

周産期における、正常経過と正常からの逸脱予防に対する助産診断とケアを、妊娠期の助産ケア・分娩期の助産ケア・産褥期の助産ケア・新生児期の助産ケアとし、さらに、継続して受け持つ実習、地域における助産ケア、助産管理を加えた 7 項目からなる。

### G. 助産学研究

助産学研究における法と倫理、助産学研究を通した助産実践の探求、研究成果の活用の 3 項目からなる。

## 2. 大学院における助産師教育モデル・コアカリキュラムの概要

### 1) 内容と構成について

大学院における助産師教育の理念は、豊かな人間性の涵養ならびに高い職業倫理を備え、助産の理論と実践を教授・探求し、優れた助産技術や多職種との協働を含む管理的能力および研究の基礎的能力を備えた人材を養成することを目指し、広く国際的な視野から、保健医療福祉の領域で貢献できる高度な専門職業人を育成することである。本モデル・コアカリキュラムは大学院修士課程において、前述の助産師の養成に必須の教育内容として検討した。その内容と構成については、医学教育モデル・コアカリキュラム、看護学教育モデル・コアカリキュラムの枠組みを参考とし、日本助産師会の「助産師のコアコンピテンシー」、ICM の「基本的助産実践に必須なコンピテンシー」、「日本の助産婦が持つべき実践能力と責任範囲」、全国助産師教育協議会活動報告書を資料として検討したのち、保健師助産師看護師学校養成所指定規則や助産師国家試験出題基準との整合性を図った。また、すでに提示されている歯学・薬学育のモデル・コアカリキュラムも医療系人材養成の内容として参考にした。

本モデル・コアカリキュラムの構成は、A 助産師として求められる基本的な資質・能力、B 社会と助産学、C ローリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア、D ハイリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア、E 多様な場とライフステージに応じた助産診断とケア、F 助産学実習、G 助産学研究の 7 つの大項目からなる。医療の向上や対象者の多様なニーズ、文化的背景や社会の変化に対応した助産を実践できるコンペテンシーズの獲得に向けて必須となる教育内容を構造化している。大項目の内容を構成する教育内容のまとめりを項目とし、各項目の教育内容全般を「ねらい」として示し、その項目について学習者が修得すべき具体的レベルを「学修目標」として示している。なお、A～E の学修目標の実施できるは学内演習等での修得レベルである。

### 2) 大項目の内容

#### A. 助産師として求められる基本的な資質・能力

プロフェッショナリズム、助産にまつわる知識と問題解決能力、助産師としての技能と助産ケア、多職種と協働と女性等との共同、コミュニケーション能力、助産師が行う医療安全と危機管理能力、科学的探究、生涯にわたって自律して学ぶ姿勢の 8 項目からなる。

#### B. 社会と助産学

助産・出産の歴史、母子と家族、女性を支える地域や文化、社会と母子、女性の健康、



社会における助産師の法的役割と責任の 4 項目からなる。

C. ローリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア

正常妊娠、分娩、産褥経過の診断とケア、正常新生児・乳幼児の診断とケアの 2 項目からなる。

D. ハイリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア

ハイリスク妊娠、分娩、産褥経過の助産診断とケア、ハイリスク新生児の成熟・胎外生活適応の診断とケア、社会的ハイリスクのある妊娠褥婦とその家族の助産診断とケアの 3 項目からなる。

E. 多様な場とライフステージに応じた助産診断とケア

地域母子保健、さまざまなライフステージに応じたウイメンズヘルスケアの 2 項目からなる。

F. 助产学実習

妊娠期の助産ケア、分娩期の助産ケア、産褥期の助産ケア、新生児期の助産ケア、継続して受け持つ実習、地域における助産ケア、周産期に合併症のある妊娠褥婦への助産ケア、助産管理実習の 8 項目からなる。

G. 助产学研究

助产学研究の 1 項目からなる。

### 3. 助産師に求められる資質・能力(現行の助産師教育修了者に求められる資質・能力)

#### A. 助産師として求められる基本的な資質・能力

助産師としての役割・責務を遂行していくために、基本となる資質や能力が求められる

#### B. 社会と助産学

社会と助産学との関連を、出産の歴史や文化、地域社会や社会システムから説明する能力が求められる。さらに、社会における助産師の法的役割と責任・義務について理解し、遂行する能力が求められる。

#### C. ロ・リスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア

ロ・リスク妊娠褥婦および新生児・乳幼児とその家族の診断とケア

妊娠・分娩・産褥の生理、正常な妊娠・分娩・産褥経過における身体的・心理社会的状態の診断とケア、胎児・新生児・乳幼児の正常な成長・発達の診断とケアのすべて項目で、実施できる能力が求められる。

#### D. ハイリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア

産科合併症の診断とケア、合併症妊娠の診断とケア、産褥の乳房と母乳育児トラブル・母乳分泌の異常の診断とケア、産後うつの診断とケア、ハイリスク新生児の診断とケアにおいて、リスクの状況に応じて説明若しくは理解できる能力が求められる。

#### E. 多様な場とライフステージに応じた助産診断とケア

母子保健包括支援の概念を基本として、母子保健の意義・変遷、助産師が行う地域における母子保健活動のための母子保健制度や施策について説明でき、今後発展が望まれる母子の地域包括支援の理念、目的、概要が説明できることが必要である。また、学校での母子保健活動、地域ネットワークづくりのための活動、国際社会での母子保健活動について説明できる能力が求められる。

女性のさまざまなライフステージにおけるウイメンズヘルスケアとして、女性のライフサイクル各期の身体的・心理的・社会的な特徴や変化とその支援、リプロダクティブヘルスの観点から、家族計画および性感染症の予防、女性とパートナーを対象とした健康問題に対する支援に関して、説明できる能力が求められる。

#### F. 助産学実習

正常な経過にある、妊娠・分娩・産褥・新生児期の母子と家族を受け持ち、対象をウェルネスの視点で捉え助産診断過程を展開しケアを実施する能力、および、正常からの逸脱予防のための助産ケアや緊急時の対応について理解することが求められる。そして、

### 3. 助産師に求められる資質・能力（大学院教育修了者に求められる資質や能力）

#### A. 助産師として求められる基本的な資質・能力

助産師としての役割・責務を遂行していくために、プロフェッショナリズムとしての資質、助産にまつわる知識と問題解決能力、助産師としての技能と助産ケア、多職種との協働と女性等との共同、コミュニケーション能力、助産師が行う医療安全と危機管理能力、併せて科学的探究、生涯にわたって自律して学ぶ姿勢が求められる。

#### B. 社会と助産

社会と助産学との関連を、出産の歴史や文化、地域社会や社会システムから説明する能力が求められる。さらに、社会における助産師の法的役割と責任・義務について理解し、遂行する能力が求められる。

#### C. ローリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア

妊娠・分娩・産褥の生理、正常な妊娠・分娩・産褥経過における身体的・心理社会的状態の診断とケア、胎児・新生児の正常な成長・発達の診断とケアのすべての項目で、実施できる能力が求められる。また、今後の経過を予測し、異常を予防するためのケアが実施できる能力も求められる。

#### D. ハイリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア

産科合併症の診断とケア、合併症妊娠の診断とケア、産褥の女房と母乳育児トラブル・母乳分泌の異常の診断とケア、産後うつの診断とケア、ハイリスク新生児の診断とケアにおいて、指導者の助言を得ながら実施できる能力が求められる。

#### E. 多様な場とライフステージに応じた助産診断とケア

母子保健包括支援の概念を基本として、母子保健の意義・変遷、助産師が行う地域における母子保健活動のための母子保健制度や施策について説明でき、今後発展が望まれる母子の地域包括支援の理念、目的、概要が説明できることが必要である。また、学校での母子保健活動、地域ネットワークづくりのための活動、国際社会での母子保健活動について説明できる能力が求められる。

女性のさまざまなライフステージにおけるウイメンズヘルスケアとして、女性のライフサイクル各期の身体的・心理的・社会的な特徴や変化とその支援、リプロダクティブヘルスの観点から、家族計画および性感染症の予防、女性とパートナーを対象とした健康

10例程度の分娩介助と母子や家族への助産ケアと、妊娠期から産後1か月まで継続して受け持ち助産ケアを実施することが求められる。また、地域における母子保健活動や他職種との連携・協働の必要性を理解し、施設（病院・診療所・助産所）の特徴を踏まえた助産管理に必要な基礎的姿勢を身につけることが求められる。

#### G. 助産学研究

助産学では、助産実践の改善・向上のために必要とされる研究的な思考と知識・技術を学修し、助産学の発展に貢献する態度が求められる。

問題に対する支援に関して、説明できるだけでなく、アセスメントから教育計画の立案、実施できる能力が求められる。

#### F. 助産学実習

妊娠・分娩・産褥期・新生児期の正常な経過にある母子と家族を受け持ち、対象をウェルネスの視点で捉え、助産の知識・技術を統合して、助産診断、計画、実施、評価の一連の助産過程を展開できる能力が求められる。さらに、ハイリスクの妊娠・分娩・産褥期・新生児期の母子と家族に対しては、異常の早期発見や予防ができるための助産ケアについて説明でき、指導者の助言を得ながら実施できる能力が求められる。そして、10例程度の分娩介助と母子や家族への助産ケア、妊娠期から産後2ヶ月までの継続ケアに対するケアを実施することが望ましい。

#### G. 助産学研究

博士前期課程、修士課程修了時には、規定の単位を取得し、研究指導を受け、各大学院による修士論文審査と試験に合格することが必要である。博士前期課程・修士課程の助産師教育課程では、助産ケアに関するリサーチエビデンスを検索して、文献を批判的に読み、複数の文献検討の結果を統合して、その結果を助産ケアに活用できる能力が求められる。また、助産実践の改善や向上を図っていくために、研究の過程を学修し、研究倫理を考慮しながら研究を実施する基礎的能力を身に着け、助産ケアの開発、評価および検証など、課題を探究できる能力が求められる。

#### 4. 現行助産師教育のコアカリキュラム策定までの経緯

現行助産師教育コアカリキュラムは、現行の助産師養成指定規則（修業年限1年以上、28単位以上）に則って助産師を養成している養成機関の教育について、体系的に整理された全国共通のカリキュラムを指している。

医療専門職のそれぞれのコアカリキュラムは以下のとおりである。

医歯学教育のモデル・コア・カリキュラムは、2001年に初めて策定され、その後、2007年、2011年、2016年に改訂された。

薬学教育においては、2006年度から6年制薬学教育が開始されたことに伴い、薬学教育モデル・コア・カリキュラムが初めて策定され、その後、2013年に改訂された。

一方、看護学教育においては、大学における看護学教育に関して2016年に文部科学省に「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会」が設置され、「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」が策定された。

その後、2017年には上記「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」に上乗せする形で学士課程保健師選択コースを想定した「公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム」が（公社）全国保健師教育機関協議会より示された。

上記のように、医療専門職各種において現行教育のモデル・コア・カリキュラムが示されている現状に鑑み、公益社団法人全国助産師教育協議会としても、2014年より検討を開始した「大学院における助産師教育モデル・コアカリキュラム」の策定に加え、現行の助産師養成指定規則に則った助産師教育のコアカリキュラムを策定する必要性を認識し、2018年に「現行助産師教育におけるコアカリキュラム」を策定するに至った。

#### 4. 「大学院における助産師教育モデル・コアカリキュラム」策定までの経緯

- 2011年度 大学院における「高度な専門性」をふまえた実践能力とカリキュラムについての検討会を実施した。「高度」な内容として「高度な知識・技術」「高度な職業倫理」「アドボケーター」「国際的な活動能力」が抽出された。
- 2012年度 大学院での助産師教育の「高度な大学院における助産師教育検討会」を実施した。大学院教育の「高度専門科目群」のカリキュラムの検討のための事前調査によって、助産師教育の現状が明らかになった。さらに高度な専門性の教育内容として、助産師国家試験受験資格取得に必要な能力を修得する「助産基礎科目群」、博士前期課程の看護学の基盤となる「共通科目群」、さらに研究者・高度専門職業人となるために必要な「高度専門科目群」の位置づけを確認した。
- 2013年度 大学院での助産師教育における助産師としての実践力や思考力、高度な専門性を育成するための取り組みについて検討会が実施された。そのなかで、助産師としての実践力や思考力の育成に関する到達目標が確認された。さらに「高度な専門性の育成」として、①正常妊娠・分娩・産褥・新生児の診断と助産ケアの教授、②正常経過からの逸脱時の対応力の育成、③実践力と研究力が融合できる指導、④専門的技能の修得や学外での学習への参加の促進、⑤臨床実習体制の充実があげられた。
- 2014年度 大学院における助産師としての高度実践能力とそのモデルカリキュラムの検討を開始した。7つのモデルカリキュラム項目：A 基本事項、B ウィメンズヘルスケアのアセスメントとケア、C 正常なマタニティ期の女性・新生児・家族の診断とケア、D ハイリスクなマタニティ期の女性・新生児・家族の診断とケア、E 地域母子保健、F 助産学実習、G 助産学課題研究・特別研究を決定し、ワーキンググループの委員が各項目を担当し、一般目標・到達目標の検討を開始した。
- 2015年度 大学院における助産師教育モデル・コアカリキュラムを検討した。モデル・コアカリキュラムの7つの大項目と中項目、小項目を立て、小項目においては、GIO 一般目標・SBO 到達目標を検討して、助産師教育モデル・コアカ

(表記について)

\*ABC、123、1)2)3)、(1)(2)(3)という順で付番を統一した。ただし、学修目標は全て①②③と付番をした。

\*対象となる人（人々）の表記については、「妊娠婦」は母子保健法に則り、妊娠中から産後1年までの女性を言う。対象に母親と新生児が対象になる場合は「母子」とし、家族も含めた対象の場合は「母子およびその家族」を用いた。対象が妊娠婦も含めた女性の場合は「女性」を用いた。ただし、文脈上普遍的に通用している表現を用いる方が適切である場合は「対象」を用いることとした（「対象疾患」など）。

\*「学習」と「学修」の表記については、原則として「学修」を用いることとした。ただし、文脈上普遍的に通用している表現を用いる方が適切である場合は「学習」を用いることとした（「生涯学習」など）。

\*前掲の単語の同義語、説明、具体例等を追加するときには（）を使用した。

例）多様な生涯学習機会の獲得方法（実践の振り返り、自己学習、職場における継続教育、学術学会や専門職団体による各種研修、大学院、共同研究等）

\*日本語とそれに対応する英単語を併記する場合は英語を（）で示し、略語の場合はスペルを初出時に示した。

例）標準予防策（Standard Precaution）

\*カタカナ化した英語はとくに英語表記を示していない。

例）コミュニケーション、ローリスク、ハイリスク

\*団体・組織名については、法人格の表記を省略した。

\*学修目標の文末の到達度について。

到達度の段階は、i 「（知識を教わり）理解する」、ii 「（理解して）説明できる」、iii 「（説明できて）実施できる」、を大きく段階分けした。

「参画できる」は、「参加できる」よりも計画の段階から加わり、主体的に実行できる能力を示す。

リキュラム（案）を作成した。

2016 年度 大学院修士課程における助産師教育のコアとなる、高度助産実践能力育成の教育モデル・コアカリキュラム（案）の第 1 回デルファイ調査を実施した。

（H28） 調査総数 27 のうち、一般目標、到達目標について 21 以上（74.1%）が必要との回答をもって同意とみなし、一般目標、到達目標の一部を修正した。

2017 年度 1 回目のデルファイ調査をふまえて修正した、大学院修士課程における助産師教育のコアとなる高度助産実践能力育成の教育モデル・コアカリキュラム（案）の第 2 回デルファイ調査を実施した。調査総数 21 の 16 以上（76.2%）

が必要との回答をもって同意とみなし、一般目標、到達目標の一部を修正した。また第 2 回デルファイ調査後に、大学院における助産師教育のモデル・コアカリキュラム（案）説明会（10 月 12 日）を実施し、出された意見に基づいて内容等を修正した。さらに、「一般目標」を「ねらい」に、「到達目標」を「学修目標」とした。また 7 つのモデルカリキュラム項目を、医学教育・看護学教育等のコアカリキュラム項目を基に再検討し、一部変更した。

## 5. 現行助産師教育におけるコアカリキュラム

### A. 助産師として求められる基本的な資質・能力

#### A-1 プロフェッショナリズム

##### A-1-1) 倫理的感能力（助産倫理）と生命倫理

ねらい 助産と助産研究における倫理の原則を理解し、助産倫理とは何かについて学ぶとともに、倫理的感能力を身につける。

###### 学修目標

A-1-1)-①対象となる人々の行為や言動の意味を感じ、倫理的に応答する能力を身につくことができる。

A-1-1)-②ICM（国際助産師連盟）による助産師国際倫理綱領、日本助産師会の示した助産師の倫理綱領（助産師の声明）等助産の倫理に関する規範を説明できる。

A-1-1)-③助産師は、ガイドラインを遵守した行為を選択することが求められることを理解できる。

A-1-1)-④性と生殖にかかわる倫理的課題を考察できる。B. 社会と助産学

##### A-1-2) 女性中心の視点

ねらい 女性の意思を尊重し、女性のプライバシーを保持して安全を図り、女性とパートナシップの関係を築きながら、女性中心のケアを実施工場する能力を身につける。

###### 学修目標

A-1-2)-①女性の自己決定権の意義を説明できる。

A-1-2)-②助産倫理に関わる主要概念であるインフォームド・コンセント、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、守秘義務と個人情報の保護、アドボカシーについて説明できる。

A-1-2)-③女性の意思を尊重し、選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い、女性の価値観を理解して、自己決定を支援することができる。

A-1-2)-④必要時、アドボケーターの役割を遂行することができる。

A-1-2)-⑤ジェンダーを理解し、女性の権利を守ることができる。

## 5. 大学院における助産師教育のモデル・コアカリキュラム

### A. 助産師として求められる基本的な資質・能力

#### A-1 プロフェッショナリズム

##### A-1-1) 倫理的感能力（助産倫理）と生命倫理

ねらい 助産と助産研究における倫理の原則を理解し、助産倫理とは何かについて学ぶとともに、倫理的感能力を身につける。

###### 学修目標

A-1-1)-①対象となる人々の行為や言動の意味を感じ、倫理的に応答する能力を身につけることができる。

A-1-1)-②ICM（国際助産師連盟）による助産師国際倫理綱領、日本助産師会の示した助産師の倫理綱領（助産師の声明）等、助産の倫理に関する規範を説明できる。

A-1-1)-③助産師は、ガイドラインを遵守した行為を選択することが求められることを理解できる。

A-1-1)-④性と生殖にかかわる倫理的課題を考察できる。

##### A-1-1) 女性中心の視点

ねらい 女性の意思を尊重し、女性のプライバシーを保持して安全を図り、女性とパートナーシップの関係を築きながら、女性中心のケアを実施する能力を身につける。

###### 学修目標

A-1-2)-①女性の自己決定権の意義を説明できる。

A-1-2)-②助産倫理に関わる主要概念であるインフォームド・コンセント、リプロダクティブヘルス/ライツ、守秘義務と個人情報の保護、アドボカシーについて説明できる。

A-1-2)-③女性の意思を尊重し、選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い、女性の価値観を理解して、自己決定を支援することができる。

A-1-2)-④必要時、アドボケーターの役割を遂行することができる。

A-1-2)-⑤ジェンダーを理解し、女性の権利を守ることができる。

### A-1-3) 助産師としての責務と裁量権

ねらい 豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を有し、助産師としての職責を自覚する。

#### 学修目標

A-1-3)-①助産の意義と助産の定義について説明できる。

A-1-3)-②日本助産師会、ICM（国際助産師連盟）、WHO（世界保健機関）の助産師の定義を述べることができる。

A-1-3)-③妊娠婦やその家族、女性と信頼関係を築くことができる。

A-1-3)-④妊娠婦やその家族、女性のもつ価値観や社会的背景が多様であることを理解し、柔軟に対応することができる。

A-1-3)-⑤助産師が女性に最も適した対応を勧めなければならない理由を説明できる。

A-1-3)-⑥自然性を尊重することができる。

A-1-3)-⑦助産師の活動の対象となる人間や環境および生命現象に対して、専門的立場から寄せる知的好奇心、関心を持つことができる。

A-1-3)-⑧助産師として自律した態度を身につけることができる。

A-1-3)-⑨助産師の法的義務を列挙し、例示できる。

### A-1-4) 助産師の業務内容・業務範囲

ねらい 助産師の役割・業務内容・業務範囲について理解できる。

#### 学修目標

A-1-4)-①ICM（国際助産師連盟）のコア・コンピテンシーの7つの能力について説明できる。

A-1-4)-②日本助産師会が示した、助産師に求められる必須の能力「助産師のコア・コンピテンシー」の4要素について説明できる。

A-1-4)-③日本助産師会が提示している助産師の役割・責務について説明できる。

A-1-4)-④WHO（世界保健機構）、ICM（国際助産連盟）の助産師の役割・責務について説明できる。

A-1-4)-⑤これからの助産師に求められる役割と機能について、自分なりの考えを述べることができる。

### A-1-3) 助産師としての責務と裁量権

ねらい 豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を有し、助産師としての職責を自覚する。

#### 学修目標

A-1-3)-①助産の意義と助産の定義について説明できる。

A-1-3)-②日本助産師会、ICM（国際助産師連盟）、WHO（世界保健機関）の助産師の定義を述べることができる。

A-1-3)-③妊産婦やその家族、女性と信頼関係を築くことができる。

A-1-3)-④妊産婦やその家族、女性のもつ価値観や社会的背景が多様であることを理解し、柔軟に対応することができる。

A-1-3)-⑤助産師が女性に最も適した対応を勧めなければならない理由を説明できる。

A-1-3)-⑥自然性を尊重することができる。

A-1-3)-⑦助産師の活動の対象となる人間や環境および生命現象に対して、専門的立場から寄せる知的好奇心、関心を持つことができる。

A-1-3)-⑧助産師として自律した態度を身につけることができる。

A-1-3)-⑨助産師の法的義務を列挙し、例示できる。

### A-1-4) 助産師の業務内容・業務範囲

ねらい 助産師の役割・業務内容・業務範囲について理解できる。

#### 学修目標

A-1-4)-①ICM（国際助産師連盟）のコア・コンピテンシーの7つの能力について説明できる

A-1-4)-②日本助産師会が示した、助産師に求められる必須の能力「助産師のコア・コンピテンシー」の4要素について説明できる。

A-1-4)-③日本助産師会が提示している助産師の役割・責務について説明できる。

A-1-4)-④WHO（世界保健機構）、ICM（国際助産師連盟）の助産師の役割・責務について説明できる。

A-1-4)-⑤これからの中産師に求められる役割と機能について、自分なりの考えを述べることができる。

## A-2 助産にまつわる知識と問題解決能力

ねらい 発展し続ける助産学や関連する医学等の学問の知識を身につけ、EBMを基盤に、経験も踏まえながら、助産ケアに対応する。

### A-2-1) 助産ケアの基盤となる概念

ねらい 助産ケアの基盤となる概念について学び、概念の実践への活用について考察する。

#### 学修目標

A-2-1)-①セルフケア理論、アタッチメント理論、役割理論、子どもの誕生に伴う親の役割移行、ルーピンの母性論、マーサーの母親役割の達成理論など助産の関連する理論を概説でき、助産ケアへの応用について述べることができる。

A-2-1)-②女性を中心としたケア (Women-centered care)や家族を中心としたケア (Family-centered care)、子どもの人権や子どもを中心としたケア (Child-centered care)の概念について説明できる。

### A-2-2) 女性の健康に関する基本的知識

ねらい 女性の健康に関する支援のための基本的な知識の理解を行う。

#### 学修目標

A-2-2)-①思春期・成熟期女性に特有な健康課題を説明できる。

A-2-2)-②更年期女性に特有な健康課題を説明できる。

A-2-2)-③リプロダクティブヘルス/ライツの歴史的経緯を踏まえて、その意義、基本的四大要素について理解できる。

A-2-2)-④リプロダクティブヘルス/ライツの観点から、女性のライフサイクルにおける諸問題と課題について理解できる。

### A-2-3) 課題探求・解決能力

ねらい 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。

#### 学修目標

A-2-3)-①必要な課題を自ら発見できる。

A-2-3)-②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。

A-2-3)-③課題を解決するための具体的な方法を発見し、課題を解決できる。

A-2-3)-④課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。

A-2-3)-⑤自己評価が適切でき、改善のための具体的方策を立てることができる。

## A-2 助産にまつわる知識と問題解決能力

### A-2-1) 助産ケアの基盤となる概念

ねらい 助産ケアの基盤となる概念について学び、概念の実践への活用について考察する。

#### 学修目標

A-2-1)-①セルフケア理論、アタッチメント理論、役割理論、子どもの誕生に伴う親の役割移行、ルーピンの母性論、マーサーの母親役割の達成理論など助産の関連する理論を概説でき、助産ケアへの応用について述べることができる。

A-2-1)-②女性を中心としたケア (Women-centered care)や家族を中心としたケア (Family-centered care)、子どもの人権や子どもを中心としたケア (Child-centered care)の概念について説明できる。

### A-2-2) 女性の健康に関する基本的知識

ねらい 女性の健康に関する支援のための基本的な知識の理解を行う。

#### 学修目標

A-2-2)-①思春期・成熟期女性に特有な健康課題を説明できる。

A-2-2)-②更年期女性に特有な健康課題を説明できる。

A-2-2)-③リプロダクティブヘルス/ライフの歴史的経緯を踏まえて、その意義、基本的大要素について説明できる。

A-2-2)-④リプロダクティブヘルス/ ライフの観点から、女性のライフサイクルにおける諸問題と課題について説明できる。

### A-2-3) 課題探求・解決能力

ねらい 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。

#### 学修目標

A-2-3)-①必要な課題を自ら発見できる。

A-2-3)-②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。

A-2-3)-③課題を解決するための具体的な方法を発見し、課題を解決できる。

A-2-3)-④課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。

A-2-3)-⑤自己評価が適切でき、改善のための具体的方策を立てることができる。

### A-3 助産師としての技能と助産ケア

ねらい 妊産婦や新生児に対する助産師としての技能を磨くとともにそれらを用い、ケア対象にとっての最善の助産ケアを実践する。

#### 学修目標

- A-3-①妊産婦と新生児の観察と診察が行える。
- A-3-②ケア対象者のニーズに則した助産過程が展開できる。
- A-3-③ローリスクの妊産婦に対して、自律的に、自然性を尊重した分娩介助が行える。
- A-3-④ガイドライン等を活用して、エビデンスに基づく助産ケアを実践できる。
- A-3-⑤ケア対象者のニーズに則した相談・教育が行える。
- A-3-⑥助産録等、記録についての基本的知識を修得し、必要事項を正確に記載することができる。
- A-3-⑦多職種に相談したり、意見交換やコンサルテーションを依頼したりすることが必要な場面を理解する。
- A-3-⑧緊急を要する状態や状況への対応を理解できる。
- A-3-⑨緊急を要する場合、他の人を呼ぶことができる。
- A-3-⑩統合的判断能力を身に付けることができる。

### A-4 多職種との協働と女性等との共同

ねらい 地域包括医療・ケアの中で助産師の果たすべき役割を理解し、医師、保健師、看護師、パラメディカルとの協同、行政や女性との協同について学ぶ。

#### 学修目標

- A-4-①地域包括医療・ケアの基本的な考え方が説明できる。
- A-4-②助産師がチームの中で果たす役割を理解し、チームにおけるリーダーシップについて説明できる。
- A-4-③医師（産科医、小児科医、精神科医、内科医など）、ソーシャルワーカー、臨床心理士、社会福祉士などとの連携・協働について説明できる。
- A-4-④行政と女性・女性団体等との共同の重要性を説明できる。

### A-3 助産師としての技能と助産ケア

ねらい 妊産婦や新生児、女性に対する助産師としての技能を磨くとともにそれらを用い、ケア対象にとっての最善の助産ケアを実践する。

#### 学修目標

A-3-①妊産婦と新生児の観察と診察が行える。

A-3-②ケア対象者のニーズに即した助産過程が展開できる。

A-3-③ローリスクの妊産婦に対して、自律的に、自然性を尊重した分娩介助が行える。

A-3-④ハイリスクの妊産婦に対して、医師と協働して、指導者の助言を得ながら、分娩介助が行える。

A-3-⑤ガイドライン等を活用して、エビデンスに基づく助産ケアを実践できる。

A-3-⑥ケア対象者のニーズに即した相談・教育が行える。

A-3-⑦助産録等、記録についての基本的知識を修得し、必要事項を正確に記載することができる。

A-3-⑧多職種に相談したり、意見交換やコンサルテーションを依頼したりすることが必要な場面を理解する。

A-3-⑨緊急を要する状態や状況への対応を説明できる。

A-3-⑩緊急を要する場合、他の人を呼ぶことができる。

A-3-⑪統合的判断能力を身に付けることができる。

### A-4 多職種との協働と女性等との共同

ねらい 地域包括医療・ケアの中で助産師の果たすべき役割を理解し、医師、保健師、看護師、パラメディカルとの協働、行政や女性との協同について学ぶ。

#### 学修目標

A-4-①地域包括医療・ケアの基本的な考え方が説明できる。

A-4-②助産師がチームの中で果たす役割を理解し、チームにおけるリーダーシップについて説明できる。

A-4-③医師（産科医、小児科医、精神科医、内科医など）、ソーシャルワーカー、臨床心理士、社会福祉士などとの連携・協働について説明できる。

A-4-④行政と女性・女性団体等との共同の重要性を説明できる。

## A-5 コミュニケーション能力

ねらい 助産の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係の確立に役立つ能力を身につける。

### A-5-1) コミュニケーション

ねらい 妊産婦やその家族、女性との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を修得する。

学修目標

A-5-1)-①コミュニケーション能力について理解し、態度や行動に及ぼす影響について説明できる。

A-5-1)-②コミュニケーションを通じて、ケア対象者、医師、その他の専門職と良好な人間関係を築くことができる。

### A-5-2) カウンセリング技術

ねらい 妊産婦やその家族、女性の自己決定を支援するために、カウンセリング技術を修得することができる。

学修目標

A-5-2)-①妊産婦やその家族、女性の話に傾聴し、共感することができる。

A-5-2)-②妊産婦やその家族、女性の感情を支持することができる。

A-5-2)-③妊産婦やその家族、女性の自己決定するまで、待つことができる。

### A-5-3) ケア対象者（母親、父親、家族など）との関係

ねらい ケア対象者（母親、父親、家族など）と良好な関係を築くために、ケア対象者の個別的背景を理解し、良好な関係を築く能力を身につける。

学修目標

A-5-3)-①ケア対象者（母親、父親、家族など）の置かれた精神的・社会的状況を説明できる

A-5-3)-②ケア対象者（母親、父親、家族など）に分りやすい言葉で対話できる。

A-5-3)-③ケア対象者（母親、父親、家族など）と信頼関係を築くことができる

## A-5 コミュニケーション能力

ねらい 助産の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係の確立に役立つ能力を身につける。

### A-5-1) コミュニケーション

ねらい 妊産婦やその家族、女性との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を修得する。

#### 学修目標

A-5-1)-①コミュニケーション能力について理解し、態度や行動に及ぼす影響について説明できる。

A-5-1)-②コミュニケーションを通じて、ケア対象者、医師、その他の専門職と良好な人間関係を築くことができる。

### A-5-2) カウンセリング技術

ねらい 妊産婦やその家族、女性の自己決定を支援するために、カウンセリング技術を修得することができる。

#### 学修目標

A-5-2)-①妊産婦やその家族、女性の話に傾聴し、共感することができる。

A-5-2)-②妊産婦やその家族、女性の感情を支持することができる。

A-5-2)-③妊産婦やその家族、女性の自己決定するまで、待つことができる。

### A-5-3) ケア対象者（母親、父親、家族など）との関係

ねらい ケア対象者（母親、父親、家族など）と良好な関係を築くために、ケア対象の個別の背景を理解し、良好な関係を築く能力を身につける。

#### 学修目標

A-5-3)-①ケア対象者（母親、父親、家族など）の置かれた精神的・社会的状況を説明できる。

A-5-3)-②ケア対象者（母親、父親、家族など）に分りやすい言葉で対話できる。

A-5-3)-③ケア対象者（母親、父親、家族など）と信頼関係を築くことができる。

## A-6 助産師が行う医療安全と危機管理能力

ねらい ケア対象者および助産師にとって、安全で安心な助産ケアを提供する。

### A-6-1) 助産の安全対策とケアの保証

ねらい 助産の安全対策について学ぶとともに、助産ケアの評価と改善の実際について学ぶ。

#### 学修目標

A-6-1)-①あらゆる場面における助産ケアのリスクマネジメントについて説明できる。

A-6-1)-②感染予防・管理、院内感染、薬剤耐性の安全対策を説明できる。

A-6-1)-③助産現場における報告・相談・連絡と記録の重要性や助産録の改ざんの違法性を説明できる。

A-6-1)-④傷害等の対応と損害賠償保険について説明できる。

A-6-1)-⑤医療における医療安全管理体制である、産科医療補償制度、医療事故調査制度を説明できる。

A-6-1)-⑥医療上の事故等（インシデントを含む）が発生した時の緊急処置や記録、報告の必要性を説明できる。

A-6-1)-⑦行政や周産期医療の動向を踏まえながら、クロップミップやアドバンス助産師などのケアの質の保証について説明できる。

### A-6-2) マネジメント

ねらい 助産管理の基本、助産業務管理について学ぶ。

#### 学修目標

A-6-2)-①助産管理の基本概念と助産業務管理の課程、助産業務管理の方法が説明できる。

A-6-2)-②助産ケアが提供される場に応じた助産業務管理の特徴が説明できる。

A-6-2)-③助産業務管理と医療経済について説明できる。

A-6-2)-④助産所の管理・運営について説明できる。

A-6-2)-⑤感染予防、感染拡大防止のための管理について説明できる。

A-6-2)-⑥平時および発災対策・支援活動について説明できる。

## A-6 助産師が行う医療安全と危機管理能力

ねらい ケア対象者および助産師にとって、安全で安心な助産ケアを提供する。

### A-6-1) 助産の安全対策とケアの保証

ねらい 助産の安全対策について学ぶとともに、助産ケアの評価と改善の実際について学ぶ。

#### 学修目標

A-6-1)-①あらゆる場面における助産ケアのリスクマネジメントについて説明できる。

A-6-1)-②感染予防・管理、院内感染、薬剤耐性の安全対策を説明できる。

A-6-1)-③助産現場における報告・相談・連絡と記録の重要性や助産録の改ざんの違法性を説明できる。

A-6-1)-④傷害等の対応と損害賠償保険について説明できる。

A-6-1)-⑤医療における医療安全管理体制である、産科医療補償制度、医療事故調査制度を説明できる。

A-6-1)-⑥医療上の事故等（インシデントを含む）が発生した時の緊急処置や記録、報告の必要性を説明できる。

A-6-1)-⑦行政や周産期医療の動向を踏まえながら、クロップミップやアドバンス助産師などのケアの質の保証について説明できる。

### A-6-2) マネジメント

ねらい 助産管理の基本、助産業務管理について学ぶ。

#### 学修目標

A-6-2)-①助産管理の基本概念と助産業務管理の課程、助産業務管理の方法が説明できる。

A-6-2)-②助産ケアが提供される場に応じた助産業務管理の特徴が説明できる。

A-6-2)-③助産業務管理と医療経済について説明できる。

A-6-2)-④助産所の管理・運営について説明できる。

A-6-2)-⑤感染予防、感染拡大防止のための管理について説明できる。

A-6-2)-⑥平時および発災対策・支援活動について説明できる。

### A-6-3) 医療事故防止対策

ねらい 産科に特徴的な医療事故法的責任を理解し、を理解し、その防止対策や解決方法について学ぶ。

#### 学修目標

A-6-3)-①周産期医療や助産ケアにおける事故の特徴とその解決に関して説明できる。

A-6-3)-②医療事故等を防止するためには、個人の注意はもとより、組織的なリスク管理が重要であることが説明できる。

### A-6-4) 災害対策・支援活動

ねらい 災害に関する助産師の役割を理解し、対象のおかれた状況や支援のあり方を学ぶ。

#### 学修目標

A-6-4)-①平時の災害の備えと訓練の必要性が説明できる。

A-6-4)-②発災時の初期対応、対策・支援活動を理解できる。

A-6-4)-③被災した妊産婦・母子・女性の特徴と支援を理解できる。

A-6-4)-④妊産婦・母子・女性への災害に対する教育内容を理解できる。

### A-6-5) 助産師の健康と安全

ねらい 助産師が遭遇する健康上の危険性（事故・感染等）について、基本的な予防・対処および改善方法を学ぶ。

#### 学修目標

A-6-5)-①助産師の健康管理（予防接種、健康診断を含む）の重要性を説明できる。

A-6-5)-②標準予防策（standard precaution）の必要性を理解し、適切に実行できる。

A-6-5)-③妊婦健診未受診者の分娩介助に対する対応を説明できる。

A-6-5)-④針刺し事故、血液等に直接接触した場合等の対処の仕方を説明できる。

### A-6-3) 医療事故防止対策

ねらい 産科に特徴的な医療事故法的責任を理解し、その防止対策や解決方法について学ぶ。

#### 学修目標

A-6-3)-①周産期医療や助産ケアにおける事故の特徴とその解決に関して説明できる。

A-6-3)-②医療事故等を防止するためには、個人の注意はもとより、組織的なリスク管理が重要であることが説明できる。

### A-6-4) 災害対策・支援活動

ねらい 災害に関する助産師の役割を理解し、対象の置かれた状況や支援の在り方を学ぶ。

#### 学修目標

A-6-4)-①平時の災害の備えと訓練の必要性が説明できる。

A-6-4)-②発災時の初期対応、対策・支援活動について説明できる。

A-6-4)-③被災した妊産婦・母子・女性の特徴と支援を説明できる。

A-6-4)-④妊産婦・母子・女性への災害に対する教育内容が説明できる。

### A-6-5) 助産師の健康と安全

ねらい 助産師が遭遇する健康上の危険性（事故・感染等）について、基本的な予防・対処および改善方法を学ぶ。

#### 学修目標

A-6-5)-①助産師の健康管理（予防接種、健康診断を含む）の重要性を説明できる。

A-6-5)-②標準予防策（standard precaution）の必要性を理解し、適切に実行できる。

A-6-5)-③妊婦健診未受診者の分娩介助に対する対応を説明できる。

A-6-5)-④針刺し事故、血液等に直接接触した場合等の対処の仕方を説明できる。

### A-7 科学的探究

ねらい 助産学・助産ケアの発展のための助産学研究の必要性を理解する。

#### 学修目標

A-7-①研究は助産学・助産ケアの発展や妊産婦や女性の利益を目的として行われるべきことを説明できる。

A-7-②科学的探究の姿勢は専門職として必要な能力であることを説明できる。

### A-8 生涯にわたって自律的して学ぶ姿勢

ねらい 専門職として、助産の質の向上を目指して自らの望む助産師活動のために、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。

#### A-8-1) 生涯教育の必要性

ねらい 専門職の助産師として、生涯にわたり自己研鑽を続ける必要性と方法を学ぶ。

#### 学修目標

A-8-1)-①生涯学習の重要性・必要性を説明できる。

A-8-1)-②自らの望む助産師活動のために必要な情報の入手方法等を説明できる。

## A-7 科学的探究

ねらい 助産学・助産ケアの発展のための助産学研究の必要性を十分理解し、批判的思考を身に付けながら、助産学研究を実施する。

### 学修目標

A-7-①研究は助産学・助産ケアの発展や妊産婦や女性の利益を目的として行われるべきことを説明できる。

A-7-②科学的探究の姿勢は専門職として必要な能力であることを説明できる。

A-7-③リサーチエビデンスの検索から吟味までの EBM／P のステップについて説明できる。

A-7-④文献を批判的に吟味できる。

A-7-⑤エビデンスレベルの高い複数の文献検討の結果を統合して、助産ケアに活用できる。

A-7-⑥文献検討や実習での体験の中から、研究課題を見出して、研究の一連の過程を実施できる。

## A-8 生涯にわたって自律して学ぶ姿勢

ねらい 専門職として、助産の質の向上を目指して自らの望む助産師活動のために、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。

### A-8-1) 生涯教育の姿勢

ねらい 専門職の助産師として、生涯にわたり自己研鑽を続ける必要性とその方法を学ぶ。

### 学修目標

A-8-1)-①生涯学習の重要性・必要性を説明できる。

A-8-1)-②自らの望む助産師活動のために必要な情報の入手方法等を説明できる。

### A-8-2) 助産学の専門性の発展

ねらい 助産学の専門性の発展に資するキャリア開発の重要性を理解し、個々のキャリアパス・キャリア開発方法ならびに後輩育成の必要性を学ぶ。

学修目標：

A-8-2)-①キャリアパス・キャリア開発の概念について理解できる。

A-8-2)-②多様な生涯学習機会の獲得方法（実践の振り返り、自己学習、職場における継続教育、学術学会や専門職団体による各種研修、大学院、共同研究等）を把握し、将来的なキャリアパス・キャリア開発への活用を説明できる。

A-8-2)-③社会の変化に対応した今後の助産師教育の在りかたを見据えて、同僚・後輩育成の必要性を理解できる。

## A-8-2) 助産学の専門性の発展

ねらい 助産学の専門性の発展に資するキャリア開発の重要性を理解し、個々のキャリアパス・キャリア開発方法ならびに後輩育成について学ぶ。

### 学修目標

A-8-2)-①キャリアパス・キャリア開発の概念について理解できる。

A-8-2)-②多様な生涯学習機会の獲得方法（実践の振り返り、自己学習、職場における継続教育、学術学会や専門職団体による各種研修、大学院、共同研究等）を把握し、将来的なキャリアパス・キャリア開発への活用を説明できる。

A-8-2)-③社会の変化に対応した今後の助産師教育の在りかたを見据えて、同僚・後輩育成の必要性を理解できる。

## B. 社会と助産学

### B-1 出産と助産の変遷

ねらい わが国および世界における助産の歴史を学び人種における今後の助産の方向性やあり方を考察する。

#### 学修目標

- B-1-①わが国における助産の発達過程の概要について説明できる。
- B-1-②西洋における助産の発達過程の概要について説明できる。
- B-1-③日本の助産師教育の変遷が説明できる。
- B-1-④諸外国の助産師教育の状況について説明できる。
- B-1-⑤わが国および世界の助産の歴史を踏まえて、今後の助産の方向性、あり方について述べることができる。
- B-1-⑥わが国の助産習俗について理解できる。

### B-2 母子と家族、女性を支える地域や文化

ねらい 母子と家族、女性に関連する文化的・社会的背景を理解するために必要な基本的知識や考え方について学ぶ。

#### 学修目標

- B-2-①母子と家族、女性の生活、文化、環境、社会経済構造等、地域の特性を捉える方法について説明できる。
- B-2-②地域の母子保健・医療・福祉制度、健康に関する情報、指標について説明できる。

## B. 社会と助産学

### B-1 助産・出産の歴史

ねらい わが国および世界における助産の歴史を学び人類における今後の助産の方向性やあり方を考察する。

#### 学修目標

- B-1-①わが国における助産の発達過程の概要について説明できる。
- B-1-②西洋における助産の発達過程の概要について説明できる。
- B-1-③日本の助産師教育の変遷が説明できる。
- B-1-④諸外国の助産師教育の状況について説明できる。
- B-1-⑤わが国および世界の助産の歴史を踏まえて、今後の助産の方向性、あり方について述べることができる。
- B-1-⑥わが国の助産習俗について理解できる。

### B-2 母子と家族、女性を支える地域や文化

ねらい 母子と家族、女性に関連する文化的・社会的背景を理解するために必要な基礎的知識や考え方について学ぶ。

#### 学修目標

- B-2-①母子と家族、女性の生活、文化、環境、社会経済構造等、地域の特性を捉える方法について説明できる。
- B-2-②地域の母子保健・医療・福祉制度、健康に関する情報、指標について説明できる。

## B-3 社会と母子、女性の健康

### B-3-1) 環境と女性の健康

ねらい 母子や女性の暮らしを取り巻く環境について、現状や課題と健康への関連について学ぶ。

#### 学修目標

B-3-1)-①母子や女性の暮らしを取り巻く環境（社会・文化的環境、物理・化学環境、政治・経済的環境など）について説明できる。

B-3-1)-②社会・文化的環境（家族、職場、地域、育児観など）が母子や女性の健康・生活に及ぼす影響について説明できる。

B-3-1)-③物理・化学的環境（薬物、放射線など）が母子や女性の健康・生活に及ぼす影響について説明できる。

B-3-1)-④災害や紛争が母子や女性の健康・生活に与える影響について説明できる。

B-3-1)-⑤健康を支援するために、環境に働きかけていく必要性について説明できる。

### B-3-2) 生活・ライフスタイルと健康との関連

ねらい 多様な生活・ライフスタイルをもつ母子と家族を理解し、その人にとって健康な生活の在り方を考えるための、生活と健康との関連について学ぶ。また、人がより良い健康行動をとることができるよう支援するために必要な行動科学・社会科学に関する知識について学ぶ。

#### 学修目標

B-3-2)-①ライフスタイルの背景にある文化を理解し、多様なライフスタイルについて理解できる。

B-3-2)-②栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠と健康との関連について説明できる。

B-3-2)-③ストレスの原因と健康との関連について説明できる。

B-3-2)-④嗜癖（喫煙、飲酒、ギャンブル等）と健康との関連について説明できる。

B-3-2)-⑤多様な性を理解し、健康との関連について説明できる。

B-3-2)-⑥生活習慣に関連付けた健康の概念や政策（プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーション、国民健康づくり運動、健やか親子 21—第2次）について説明できる。

B-3-2)-⑦個々のライフスタイルについて健康の側面からアセスメントする重要性について説明できる。

B-3-2)-⑧主な社会資源と暮らしや健康との関連について説明できる。

B-3-2)-⑨人の行動変容支援に必要な基礎理論（心理学、行動科学）について説明できる。

## B-3 社会と母子、女性の健康

### B-3-1) 環境と女性の健康

ねらい 母子や女性の暮らしを取り巻く環境について、現状や課題と健康への関連について学ぶ。

#### 学修目標

B-3-1)-①母子や女性の暮らしを取り巻く環境（社会・文化的環境、物理・化学環境、政治・経済的環境など）について説明できる。

B-3-1)-②社会・文化的環境（家族、職場、地域、育児観など）が母子や女性の健康・生活に及ぼす影響について説明できる。

B-3-1)-③物理・化学的環境（薬物、放射線など）が母子や女性の健康・生活に及ぼす影響について説明できる。

B-3-1)-④災害や紛争が母子や女性の健康・生活に与える影響について説明できる。

B-3-1)-⑤健康を支援するために、環境に働きかけていく必要性について説明できる。

### B-3-2) 生活・ライフスタイルと健康との関連

ねらい 多様な生活・ライフスタイルをもつ母子と家族を理解し、その人にとって健康な生活の在り方を考えるための、生活と健康との関連について学ぶ。また、人がより良い健康行動をとることができるよう支援するために必要な行動科学・社会科学に関する知識について学ぶ。

#### 学修目標

B-3-2)-①ライフスタイルの背景にある文化を理解し、多様なライフスタイルについて理解できる。

B-3-2)-②栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠と健康との関連について説明できる。

B-3-2)-③ストレスの原因と健康との関連について説明できる。

B-3-2)-④嗜癖（喫煙、飲酒、ギャンブル等）と健康との関連について説明できる。

B-3-2)-⑤多様な性を理解し、健康との関連について説明できる。

B-3-2)-⑥生活習慣に関連付けた健康の概念や政策（プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーション、国民健康づくり運動、健やか親子 21—第 2 次）について説明できる。

B-3-2)-⑦個々のライフスタイルについて健康の側面からアセスメントする重要性について説明できる。

B-3-2)-⑧主な社会資源と暮らしや健康との関連について説明できる。

B-3-2)-⑨人の行動変容支援に必要な基礎理論（心理学、行動科学）について説明できる。

### B-3-3) 地域ケアシステム

ねらい 個人・家族が暮らす地域に存在する社会資源、グループ、組織について理解し、母子と家族の健康な生活のための地域のケアシステムやネットワークの構築の必要性について学ぶ。

#### 学修目標

B-3-3)-①地域の資源や様々なグループ、組織の活動について母子と家族の生活に関連付けて説明できる。

B-3-3)-②母子と家族に必要な地域のケアシステムやネットワークについて、関連機関や多職種との連携・協働し構築する必要性について説明できる。

### B-3-4) 社会の動向と母子保健・医療・福祉制度

ねらい 助産を取り巻く社会の動向や特性について学ぶ。健康と生活の支援に必要な母子保健・医療・福祉制度について学ぶ。

#### 学修目標

B-3-4)-①社会の動向や特性を説明できる。

B-3-4)-②日本における社会保障制度の変遷と特徴について説明できる。

B-3-4)-③社会保障制度の種類（社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生、医療等）について説明できる。

B-3-4)-④社会保険の種類（医療保険、年金保険、労災保険、雇用保険、介護保険）について説明できる。

B-3-4)-⑤母子保健及び医療の主な関連法規（母子保健法、母体保護法、医療法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、児童虐待の防止等に関する法律、地域保健法、感染症法、健康増進法、学校保健安全法、労働安全衛生法等）について説明できる。

B-3-4)-⑥保健・医療・福祉における課題（不妊の悩みをもつ人、低出生体重児、乳幼児・児童虐待、産後支援、子育て世代包括支援等、また、母子保健、児童福祉、学校保健、成人保健、精神保健、感染症等）の動向と対策について説明できる。

### B-3-3) 地域ケアシステム

ねらい 個人・家族が暮らす地域に存在する社会資源、グループ、組織について理解し、母子と家族の健康な生活のための地域のケアシステムやネットワークの構築の必要性について学ぶ。

#### 学修目標

B-3-3)-①地域の資源や様々なグループ、組織の活動について母子と家族の生活に関連付けて説明できる。

B-3-3)-②母子と家族に必要な地域のケアシステムやネットワークについて、関連機関や多職種との連携・協働し構築する必要性について説明できる。

### B-3-4) 社会の動向と母子保健・医療・福祉制度

ねらい 助産を取り巻く社会の動向や特性について学ぶ。健康と生活の支援に必要な母子保健・医療・福祉制度について学ぶ。

#### 学修目標

B-3-4)-①社会の動向や特性を説明できる。

B-3-4)-②日本における社会保障制度の変遷と特徴について説明できる。

B-3-4)-③社会保障制度の種類（社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生、医療等）について説明できる。

B-3-4)-④社会保険の種類（医療保険、年金保険、労災保険、雇用保険、介護保険）について説明できる。

B-3-4)-⑤母子保健及び医療の主な関連法規（母子保健法、母体保護法、医療法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、児童虐待の防止等に関する法律、地域保健法、感染症法、健康増進法、学校保健安全法、労働安全衛生法等）について説明できる。

B-3-4)-⑥保健・医療・福祉における課題（不妊の悩みをもつ人、低出生体重児、乳幼児・児童虐待、産後支援、子育て世代包括支援等、また、母子保健、児童福祉、学校保健、成人保健、精神保健、感染症等）の動向と対策について説明できる。

### B-3-5) 痘学・母子保健統計

ねらい 根拠に基づいた助産を実践するための基礎となる痘学と母子保健統計について学ぶ。

#### 学修目標

B-3-5)-①人口統計（人口静態、人口動態）、疾病構造、保健・医療・福祉に関する基本的統計や指標について説明できる。

B-3-5)-②健康障害と相対リスクについて説明できる。

B-3-5)-③痘学的因果関係の推定について説明できる。

B-3-5)-④情報リテラシーについて説明できる。

B-3-5)-⑤統計資料をデータベースや文献・図書から検索し活用できる。

## B-4 社会における助産師の法的位置付けと責任

### B-4-1) 助産師の法的位置付け

ねらい 助産師の法的位置付けについて学ぶ。

#### 学修目標

B-4-1)-①助産師を規定する法律や関連法規（保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律等）について説明できる。

B-4-1)-②助産の動向とそれに関わる制度や法規について説明できる。

B-4-1)-③助産師と連携する主な職種の法（医師法、医療関係職に関する法律、各福祉士に関する法律）の特徴について説明できる。

### B-4-2) 助産業務上の法的義務、開業権と義務

ねらい 助産業務に関わる法律について理解し、助産師が法的責務を果たす必要性について学ぶ。

#### 学修目標

B-4-2)-①保健師助産師看護師法に示された、助産師の独自の判断で行える業務について説明できる。

B-4-2)-②保健師助産師看護師法に示された、医師の指示に基づいて行う業務について説明できる。

B-4-2)-③保健師助産師看護師法に示された届出義務、応召義務、証明書の交付義務、異常死産時の届出義務、証明書の交付に関する制限、異常妊娠等の処置禁止、助産録の記載義務・助産録の保存義務について説明できる。

B-4-2)-④助産業務をとりまく法律について説明できる。

### B-3-5) 痘学・母子保健統計

ねらい 根拠に基づいた助産を実践するための基礎となる痘学と母子保健統計について学ぶ。

#### 学修目標

B-3-5)-①人口統計（人口静態、人口動態）、疾病構造、保健・医療・福祉に関する基本的統計や指標について説明できる。

B-3-5)-②健康障害と相対リスクについて説明できる。

B-3-5)-③痘学的因果関係の推定について説明できる。

B-3-5)-④情報リテラシーについて説明できる。

B-3-5)-⑤統計資料をデータベースや文献・図書から検索し活用できる。

### B-4 社会における助産師の法的役割と責任

#### B-4-1) 助産師の法的位置付け

ねらい 助産師の法的位置付けについて学ぶ。

#### 学修目標

B-4-1)-①助産師を規定する法律や関連法規（保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律等）について説明できる。

B-4-1)-②助産の動向とそれに関わる制度や法規について説明できる。

B-4-1)-③助産師と連携する主な職種の法（医師法、医療関係職に関する法律、各福祉士に関する法律）の特徴について説明できる。

#### B-4-2) 助産業務上の法的義務、開業権と義務

ねらい 助産業務に関わる法律について理解し、助産師が法的責務を果たす必要性について学ぶ。

#### 学修目標

B-4-2)-①保健師助産師看護師法に示された、助産師の独自の判断で行える業務について説明できる。

B-4-2)-②保健師助産師看護師法に示された、医師の指示に基づいて行う業務について説明できる。

B-4-2)-③保健師助産師看護師法に示された届出義務、応召義務、証明書の交付義務、異常死産時の届出義務、証明書の交付に関する制限、異常妊娠等の処置禁止、助産録の記載義務・助産録の保存義務について説明できる。

B-4-2)-④助産業務をとりまく法律について概説できる。

### B-4-3) 国際社会と助産

ねらい 国際社会における母子保健・医療・福祉の現状と課題について学ぶ。

学修目標

B-4-3)-①国際社会の母子保健・医療・福祉の現状と課題について理解できる。

B-4-3)-②国際的視野で、助産の対象となる人への配慮について理解できる。

### B-4-3) 国際社会と助産

ねらい　国際社会における母子保健・医療・福祉の現状と課題について学ぶ。

#### 学修目標

B-4-3)-①国際社会の母子保健・医療・福祉の現状と課題について説明できる。

B-4-3)-②国際的視野で、助産の対象となる人への配慮について説明できる。

B-4-3)-③日本の母子保健・医療・福祉の特徴を理解し、国際社会における助産の役割と貢献について概説できる。

## C ロ・リスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア

妊娠・分娩・産褥の生理、正常な妊娠・分娩・産褥経過における身体的・心理社会的状態の診断とケア、および胎児・新生児・乳幼児の正常な成長・発達について、科学的根拠に基づいた助産診断による助産過程を展開し実施できる助産ケア能力を修得する。また、正常からの逸脱予防のための助産診断とケアについて理解する。

### C-1 正常妊娠の診断とケア

#### C-1-1) 正常妊娠の母体と胎児の助産診断

ねらい 正常な妊娠の成立や妊娠経過、および母体と胎児の健康状態の診断とケアについて学ぶ。

学修目標

##### C-1-1)-(1) 妊娠成立の確定診断

C-1-1)-(1)-①問診、免疫学的反応、基礎体温法による診査法が説明できる。

C-1-1)-(1)-②超音波断層法や超音波ドプラ法による診査法が説明できる。

##### C-1-1)-(2) 妊娠時期及び分娩予定日の診断

C-1-1)-(2)-①最終月経、月経周期、性交日等による分娩予定日の算出方法が説明できる。

C-1-1)-(2)-②超音波断層法の測定値による分娩予定日および妊娠週数の算出方法が説明できる。

C-1-1)-(2)-③胎動の自覚、子宮底高による妊娠週数の推定方法について説明できる。

##### C-1-1)-(3) 妊娠に伴う母体の生理的変化と健康状態の診断

C-1-1)-(3)-①生殖器系の生理的変化について説明できる。

C-1-1)-(3)-②乳房の生理的変化について説明できる。

C-1-1)-(3)-③循環器系、呼吸器系、消化器系、肝機能、腎機能、泌尿器系、内分泌系の生理的変化について説明できる。

C-1-1)-(3)-④母体の健康状態の診断基準が説明できる。

##### C-1-1)-(4) 胎児の成長・発達の診断

C-1-1)-(4)-①胎芽期から胎児期の身体的成长が説明できる。

C-1-1)-(4)-②胎児の身体的機能の発達が説明できる。

C-1-1)-(4)-③胎児の健康状態の診断方法と基準が説明できる。

## C. ローリスク妊娠婦・新生児とその家族の診断とケア

### C-1 正常妊娠、分娩、産褥経過の診断とケア

#### C-1-1) 正常妊娠の診断

ねらい 正常な妊娠の成立や妊娠経過、及び母子の健康状態の診断方法について学ぶ。

##### C-1-1)-(1) 妊娠成立の確定診断

学修目標

C-1-1)-(1)-①問診、免疫学的反応、基礎体温法による診査法が説明できる。

C-1-1)-(1)-②超音波断層法や超音波ドプラ法による診査法が説明できる。

##### C-1-1)-(2) 妊娠時期及び分娩予定日の診断

学修目標

C-1-1)-(2)-①最終月経、月経周期、性交日等による分娩予定日の算出方法が説明できる。

C-1-1)-(2)-②超音波断層法の測定値による分娩予定日および妊娠週数の算出方法が説明できる。

C-1-1)-(2)-③胎動の自覚、子宮底高による妊娠週数の推定方法について説明できる。

##### C-1-1)-(3) 妊娠に伴う母体の生理的変化と健康状態の診断

学修目標

C-1-1)-(3)-①生殖器系の生理的変化について説明できる。

C-1-1)-(3)-②乳房の生理的変化について説明できる。

C-1-1)-(3)-③循環器系、呼吸器系、消化器系、肝機能、腎機能、泌尿器系、内分泌系の生理的変化について説明できる。

C-1-1)-(3)-④母体の健康状態の診断基準が説明できる。

##### C-1-1)-(4) 胎児の成長・発達

学修目標

C-1-1)-(4)-①胎芽期から胎児期の身体的成长が説明できる。

C-1-1)-(4)-②胎児の身体的機能の発達が説明できる。

C-1-1)-(4)-③胎児の健康状態の診断方法と基準が説明できる。

#### C-1-2) 妊婦と家族の心理・社会的変化の診断

ねらい 正常経過における妊婦と家族の心理・社会的変化の診断とケアについて学ぶ  
学修目標

C-1-2)-①妊娠経過に伴う心理的反応及び情動特性について説明できる。

C-1-2)-②胎児と母親・父親の愛着形成について説明できる。

C-1-2)-③親役割の準備と習得について説明できる。

C-1-2)-④兄や姉となる子どもに起こりやすい反応について説明できる。

#### C-1-3) ロ・リスク妊婦と家族へのケア

ねらい ロ・リスクな妊娠期の経過に応じた妊婦と家族への助産ケアについて学ぶ。

学修目標

C-1-3)-①妊婦健康診査の必要性とその頻度、内容について説明できる。

C-1-3)-②母体の健康と胎児の発育のための食生活への指導を計画、立案できる。

C-1-3)-③母体の健康と胎児の発育のための日常生活への指導を計画、立案できる。

C-1-3)-④親としての準備性を高めるためのケアについて説明できる。

C-1-3)-⑤出産準備教育について計画・立案できる。

C-1-3)-⑥分娩施設や分娩時の処置・ケア等のベースプラン作成への支援について説明できる。

C-1-3)-⑦母乳育児への準備性を高めるためのケアについて説明できる。

#### C-1-4) マイナートラブルへの助産ケア

ねらい 妊娠期のマイナートラブルへの助産ケアについて学ぶ

学修目標：

C-1-4)-①妊娠期に起こりやすいマイナートラブルについて説明できる。

C-1-4)-②マイナートラブルの発生時期や生理機序について説明できる。

C-1-4)-③マイナートラブルの対処方法について計画、立案できる。

#### C-1-5) 正常からの逸脱予防ための妊娠期の診断とケア

ねらい 正常からの逸脱予防ための妊娠期における母体と胎児の診断とケアについて学ぶ。

学修目標

C-1-5)-(1) 妊娠年齢によるリスク

C-1-5)-(1)-①高齢妊娠の身体的特徴および産科学的リスクについて説明できる。

C-1-5)-(1)-②若年妊娠の身体的特徴および産科学的リスクについて説明できる。

### C-1-1)-(5) 妊婦と家族の心理・社会的変化の診断

#### 学修目標

C-1-1)-(5)-①妊娠経過に伴う心理的反応及び情動特性について説明できる。

C-1-1)-(5)-②胎児と母親・父親の愛着形成について説明できる。

C-1-1)-(5)-③親役割の準備と習得について説明できる。

C-1-1)-(5)-④兄や姉となる子どもに起こりやすい反応について説明できる。

### C-1-2) ローリスク妊婦と家族へのケア

ねらい 妊娠期の正常性への助産ケアについて学ぶ。

#### 学修目標

C-1-2)-①妊婦健康診査の必要性とその頻度、内容について説明できる。

C-1-2)-②妊娠期に起こりやすい異常を予防するケアについて説明できる。

C-1-2)-③マイナートラブルへのケアについて説明できる。

C-1-2)-④母体の健康と胎児の発育のための食生活への指導を計画、立案できる。

C-1-2)-⑤母体の健康と胎児の発育のための日常生活への指導を計画、立案できる。

C-1-2)-⑥親としての準備性を高めるためのケアについて説明できる。

C-1-2)-⑦出産準備教育について計画・立案できる。

C-1-2)-⑧分娩施設や分娩時の処置・ケア等のバースプラン作成への支援について説明できる。

C-1-2)-⑨母乳育児への準備性を高めるためのケアについて説明できる。

C-1-5)-(2) 妊娠貧血の予防

C-1-5)-(2)-①妊娠貧血のリスク因子について説明できる。

C-1-5)-(2)-②貧血が妊娠・分娩・産褥経過に及ぼす影響について説明できる。

C-1-5)-(2)-③妊娠貧血の予防のための食事や活動に関する保健指導について計画、立案できる。

C-1-5)-(3) 妊娠高血圧症候群の予防

C-1-5)-(3)-①妊娠高血圧症候群のリスク因子について説明できる。

C-1-5)-(3)-②妊娠高血圧症候群の症状について説明できる。

C-1-5)-(3)-③妊娠高血圧症候群の予防のための食事や活動に関する保健指導について計画、立案できる。

C-1-5)-(4) 妊娠糖尿病（GDM）の予防

C-1-5)-(4)-①妊娠経過中の血糖コントロールについて説明できる。

C-1-5)-(4)-②GDM の予防のための食事や活動に関する保健指導について計画、立案できる。

C-1-5)-(5) 破水時期の異常の予防

C-1-5)-(5)-①前期破水発生の因子について説明できる。

C-1-5)-(5)-②破水を予防する助産ケアについて説明できる。

C-1-5)-(6) 妊娠期間の異常の予防

C-1-5)-(6)-①流産・早産のリスク因子が説明できる。

C-1-5)-(6)-②流産・早産の予防について説明できる。

C-1-5)-(6)-③過期妊娠におけるリスクについて説明できる。

C-1-5)-(6)-④過期妊娠を予防するケアについて説明できる。

C-1-5)-(7) 胎児発育の異常の予防

C-1-5)-(7)-①胎児発育および健康状態の逸脱の診断方法について説明できる。

C-1-5)-(7)-②胎児発育不全（FGR）のリスク因子について説明できる。

C-1-5)-(7)-③FGR の予防について説明できる。

C-1-5)-(8) 羊水量の異常の予防

C-1-5)-(8)-①羊水量の正常逸脱の予測について説明できる。

C-1-5)-(8)-②羊水過多・羊水過少の因子について説明できる。



## C-2 正常分娩の診断とケア

### C-2-1) 分娩進行に伴う経過診断

ねらい 分娩開始の診断と分娩進行に伴う経過診断について学ぶ。

#### 学修目標

##### C-2-1)-(1) 分娩開始の前徴の診断

C-2-1)-(1)-①種々の自覚症状から分娩開始の前徴について説明できる。

C-2-1)-(1)-②内診による診査での分娩開始日の予測について説明できる。

##### C-2-1)-(2) 分娩開始の診断

C-2-1)-(2)-①分娩陣痛発来について説明できる。

C-2-1)-(2)-②分娩開始に伴う自覚・他覚症状について説明できる。

##### C-2-1)-(3) 正常分娩経過の診断

C-2-1)-(3)-①分娩の3要素について診査法を含め説明できる。

C-2-1)-(3)-②子宮頸管開大度、頸管展退度、児頭下降度、児頭の骨盤内進入度について説明できる。

C-2-1)-(3)-③分娩進行に沿った児頭下降度、児頭回旋および頸管開大度との関係について説明できる。

C-2-1)-(3)-④胎児の回旋を踏ました通過機転が説明できる。

C-2-1)-(3)-⑤分娩進行に影響する直接的因子・間接的因子について説明できる。

C-2-1)-(3)-⑥分娩経過を予測する上で必要なアセスメント項目について説明できる。

C-2-1)-(3)-⑦正常経産分娩の介助が実施できる。

C-2-1)-(3)-⑧正常な分娩第4期の経過について説明できる。

##### C-2-1)-(4) 分娩経過および出生直後の胎児の健康状態の診断とケア

C-2-1)-(4)-①胎児心拍数図の判読ができる。

C-2-1)-(4)-②出生直後の児の健康状態を診断できる。

### C-1-3) 正常分娩の診断

ねらい 分娩開始の診断と分娩進行に伴う経過診断について学ぶ。

#### C-1-3)-(1) 分娩開始の前兆の診断

学修目標

C-1-3)-(1)-①種々の自覚症状から分娩開始の前兆について説明できる。

C-1-3)-(1)-②内診による診査での分娩開始日の予測について説明できる。

#### C-1-3)-(2) 分娩開始の診断

学修目標

C-1-3)-(2)-①分娩陣痛発来について説明できる。

C-1-3)-(2)-②分娩開始に伴う自覚・他覚症状について説明できる。

#### C-1-3)-(3) 正常分娩経過の診断

学修目標

C-1-3)-(3)-①分娩の3要素について診査法を含め説明できる。

C-1-3)-(3)-②子宮頸管開大度、頸管展退度、児頭下降度、児頭の骨盤内進入度について説明できる。

C-1-3)-(3)-③分娩進行に沿った児頭下降度、児頭回旋および頸管開大度との関係について説明できる。

C-1-3)-(3)-④胎児の回旋を踏まえた通過機転が説明できる。

C-1-3)-(3)-⑤分娩進行に影響する直接的因子・間接的因子について説明できる。

C-1-3)-(3)-⑥分娩経過を予測する上で必要なアセスメント項目について説明できる。

C-1-3)-(3)-⑦正常経産分娩の介助が実施できる。

C-1-3)-(3)-⑧正常な分娩第4期の経過について説明できる。

#### C-1-3)-(4) 分娩経過および出生直後の胎児の健康状態の診断とケア

学修目標

C-1-3)-(4)-①胎児心拍数図の判読ができる。

C-1-3)-(4)-②出生直後の児の健康状態を診断できる。

#### C-2-2) 分娩予測の診断

ねらい 分娩の予測について学ぶ。

##### 学修目標

C-2-2)-①各種の身体的所見から分娩進行予測について説明できる。

C-2-2)-②分娩進行に伴う母子の健康状態の予測について説明できる。

#### C-2-3) 正常な分娩経過の産婦と家族へのケア

ねらい ロ・リスクな分娩期の経過に応じた産婦と家族への助産ケアについて学ぶ。

##### 学修目標

C-2-3)-①産婦の主体性を尊重するケアについて説明できる。

C-2-3)-②産婦の心身の苦痛を緩和するケアについて説明できる。

C-2-3)-③分娩に立ち会う夫へのケアについて説明できる。

C-2-3)-④児との早期接触の意義と方法について説明できる。

C-2-3)-⑤産婦の家族へのケアについて説明できる。

#### C-2-4) 正常からの逸脱予防ための分娩期の診断とケア

ねらい 正常からの逸脱予防ための分娩期における母体と胎児の診断とケアについて学ぶ。

##### 学修目標

###### C-2-4)-(1) 陣痛異常の予防とケア

C-2-4)-(1)-①分娩経過に沿った陣痛周期の正常からの逸脱について説明できる。

C-2-4)-(1)-②陣痛持続時間について正常からの逸脱を説明できる。

C-2-4)-(1)-③微弱陣痛および過強陣痛を発生させる因子について説明できる。

C-2-4)-(1)-④陣痛異常を予防する助産ケアについて説明できる。

###### C-2-4)-(2) 回旋異常の予防とケア

C-2-4)-(2)-①回旋異常の発生因子について説明できる。

C-2-4)-(2)-②回旋異常を予防する助産ケアについて説明できる。

C-2-4)-(2)-③各回旋異常からの正常性への助産ケアについて説明できる。

###### C-2-4)-(3) 児頭進入異常の予防とケア

C-2-4)-(3)-①児頭進入異常の発生因子について説明できる。

C-2-4)-(3)-②児頭進入異常を予防する助産ケアについて説明できる。

C-2-4)-(3)-③各児頭進入異常からの正常性への助産ケアについて説明できる。

#### C-1-4) 分娩予測の診断

ねらい 分娩の予測について学ぶ。

##### 学修目標

C-1-4)-①各種の身体的所見から分娩進行予測について説明できる。

C-1-4)-②分娩進行に伴う母子の健康状態の予測について説明できる。

#### C-1-5) 正常な分娩経過の産婦と家族へのケア

ねらい 分娩期の正常性への助産ケアについて学ぶ。

##### 学修目標

C-1-4)-①分娩期に起こりやすい異常を予防するためのケアについて説明できる。

C-1-4)-②産婦の主体性を尊重するケアについて説明できる。

C-1-4)-③産婦の心身の苦痛を緩和するケアについて説明できる。

C-1-4)-④分娩に立ち会う夫へのケアについて説明できる。

C-1-4)-⑤児との早期接触の意義と方法について説明できる。

C-1-4)-⑥産婦の家族へのケアについて説明できる。

C-2-4)-(4) 胎位異常の予防とケア

C-2-4)-(4)-①骨盤位・横位の発生因子について説明できる。

C-2-4)-(4)-②骨盤位・横位を予防する助産ケアについて説明できる。

C-2-4)-(4)-③骨盤位・横位からの正常性への助産ケアについて説明できる。

C-2-4)-(5) 胎児機能不全の診断とケア

C-2-4)-(5)-①胎児機能不全と羊水混濁との関係について説明できる。

C-2-4)-(5)-②胎児機能不全を予防する助産ケアについて説明できる。

C-2-4)-(5)-③胎児機能不全からの正常性への助産ケアについて説明できる。

C-2-4)-(6) 分娩遷延・分娩停止の診断とケア

C-2-4)-(6)-①分娩遷延・分娩停止の定義が説明できる。

C-2-4)-(6)-②分娩遷延および分娩が停止するリスク因子について説明できる。

C-2-4)-(6)-③分娩遷延を予防する助産ケアについて説明できる。

C-2-4)-(6)-④分娩が遷延する各因子における分娩経過の予測について説明できる。

C-2-4)-(6)-⑤正常性への助産ケアについて説明できる。

C-2-4)-(7) 産道裂傷の予防とケア

C-2-4)-(7)-①頸管・臍・会陰裂傷のハイリスク因子について説明できる。

C-2-4)-(7)-②頸管・臍・会陰裂傷の診断について症状や他の疾患との鑑別点を含め説明できる

C-2-4)-(8) 分娩時異常出血（大量出血・産科危機的出血）の予防とケア

C-2-4)-(8)-①大量出血のリスク因子について説明できる。

C-2-4)-(8)-②大量出血の診断指標について説明できる。

C-2-4)-(8)-③大量出血について症状や他疾患との鑑別点を含め説明できる。



### C-3 正常産褥の診断とケア

#### C-3-1) 産褥経過の診断とケア

ねらい 正常な産褥経過の全身状態・退行変化・進行変化の診断とケアについて学ぶ。

#### 学修目標

##### C-3-1)-(1) 全身状態の診断とケア

C-3-1)-(1)-①体温、脈拍、呼吸、血圧、体重について経過を踏まえた説明ができる。

C-3-1)-(1)-②排泄に関する特徴について経過を踏まえた説明ができる。

C-3-1)-(1)-③活動や睡眠における特徴について説明できる。

C-3-1)-(1)-④産褥期の種々の検査所見について説明できる。

##### C-3-1)-(2) 退行変化の診断とケア

C-3-1)-(2)-①子宮の復古および悪露の変化について説明できる。

C-3-1)-(2)-②膣、外陰部、肛門における復古について説明できる。

C-3-1)-(2)-③腹壁、骨盤、骨盤底筋群の復古について説明できる。

C-3-1)-(2)-④産褥期の性機能についてホルモン動態を踏まえた説明ができる。

##### C-3-1)-(3) 進行変化と母乳育児の診断とケア

C-3-1)-(3)-①産褥期の乳房の特徴について解剖を踏まえた説明ができる。

C-3-1)-(3)-②乳汁分泌に関するホルモンについて説明できる。

C-3-1)-(3)-③乳汁分泌の機序について説明できる。

C-3-1)-(3)-④母乳の成分の変化について説明できる。

C-3-1)-(3)-⑤母乳育児に対する意志との関係について説明できる。

C-3-1)-(3)-⑥母親の授乳に対するセルフケア能力の査定について説明できる。

C-3-1)-(3)-⑦母乳不足であるか母乳不足感であるのかの査定方法について説明できる。

C-3-1)-(3)-⑧児の体重増加や全身状態との関係について説明できる。

C-3-1)-(3)-⑨乳房緊満感と乳汁生成期の関係について説明できる。

C-3-1)-(3)-⑩母親の授乳手技や母乳育児に関する自尊感情へのケアについて説明できる。

### C-1-6) 産褥経過の診断とケア

ねらい 産褥経過の助産診断について学ぶ。

#### C-1-6)-(1) 産褥復古(退行性変化) の診断とケア

学修目標

C-1-6)-(1)-①子宮の復古および悪露の変化について説明できる。

C-1-6)-(1)-②膣、外陰部、肛門における復古について説明できる。

C-1-6)-(1)-③腹壁、骨盤、骨盤底筋群の復古について説明できる。

C-1-6)-(1)-④産褥期の性機能についてホルモン動態を踏まえた説明ができる。

#### C-1-6)-(2) 全身状態の診断とケア

学修目標

C-1-6)-(2)-①体温、脈拍、呼吸、血圧、体重について経過を踏まえた説明ができる。

C-1-6)-(2)-②排泄に関する特徴について経過を踏まえた説明ができる。

C-1-6)-(2)-③活動や睡眠における特徴について説明できる。

C-1-6)-(2)-④産褥期の種々の検査所見について説明できる。

#### C-1-6)-(3) 母乳育児の診断とケア

学修目標

C-1-6)-(3)-①産褥期の乳房の特徴について解剖を踏まえた説明ができる。

C-1-6)-(3)-②乳汁分泌に関するホルモンについて説明できる。

C-1-6)-(3)-③乳汁分泌の機序について説明できる。

C-1-6)-(3)-④母乳の成分の変化について説明できる。

C-1-6)-(3)-⑤効果的な母乳育児について説明できる。

#### C-3-4) 心理・社会的状態の診断とケア

ねらい 正常経過における褥婦と家族の心理・社会的状態の診断とケアについて学ぶ  
学修目標

C-3-4)-①産褥期の褥婦と家族の心理的変化について説明できる。

C-3-4)-②産褥期の褥婦と家族の社会的変化について説明できる。

#### C-3-5) 褥婦と家族へのケア

ねらい ロ・リスクな産褥期の経過に応じた褥婦と家族への助産ケアについて学ぶ。

学修目標

C-3-5)-①退行性変化を促進するケアについて説明できる。

C-3-5)-②進行性変化を促進するケアについて説明できる。

C-3-5)-③母親役割が遂行できるケアについて説明できる。

C-3-5)-④父親役割が遂行できるケアについて説明できる。

C-3-5)-⑤産褥期の生活指導について計画、立案できる。

C-3-5)-⑥産褥期の家族計画指導について計画、立案できる。

C-3-5)-⑦分娩の想起と肯定的出産体験へのケアについて説明できる。

#### C-3-6) 正常からの逸脱予防ための産褥期の診断とケア

ねらい 正常からの逸脱予防ための産褥期における褥婦の診断とケアについて学ぶ。

学修目標

C-3-6)-(1) 正常な産褥経過からの逸脱の診断

C-3-6)-(1)-①産褥期に起こりやすい異常について述べられる。

C-3-6)-(1)-②産褥期に起こる正常経過からの逸脱の原因や症状について説明できる。

#### C-3-6)-(2) 子宮復古不全の予防とケア

C-3-6)-(2)-①子宮復古不全のハイリスク因子について説明できる。

C-3-6)-(2)-②子宮復古不全について症状や他疾患との鑑別点をふくめ説明できる。

C-3-6)-(2)-③産褥出血に対する予防的ケアについて説明できる。

#### C-3-4)-(3) 乳房トラブルの予防とケア

C-3-4)-(3)-①乳頭トラブル・乳房うつ積うつ滞・乳腺炎の原因について説明できる。

C-3-4)-(3)-②乳頭トラブル・乳房うつ積うつ滞・乳腺炎の発生因子について説明できる。

C-3-4)-(3)-③適切なラッチオンやポジショニングを促すケア方法について説明できる。

C-3-4)-(3)-④乳房トラブルを予防するためのケアについて計画、立案できる。

C-3-4)-(3)-⑤児の健康状態との関係について説明できる。

C-3-4)-(3)-⑥母親の睡眠や食事、ストレス等との関係について説明できる。

C-1-6)-(4) 心理・社会的状態の診断とケア

学修目標

C-1-6)-(4)-①産褥期の心理的变化について説明できる。

C-1-6)-(4)-②産褥期の社会的变化について説明できる。

C-1-6)-(5) 褒婦と家族へのケア

学修目標

C-1-6)-(5)-①退行性変化を促進するケアについて説明できる。

C-1-6)-(5)-②進行性変化を促進するケアについて説明できる。

C-1-6)-(5)-③産褥期に起こりやすい異常を予防するためのケアについて説明できる。

C-1-6)-(5)-④母親役割が遂行できるケアについて説明できる。

C-1-6)-(5)-⑤父親役割が遂行できるケアについて説明できる。

C-1-6)-(5)-⑥産褥期の生活指導について計画、立案できる。

C-1-6)-(5)-⑦産褥期の家族計画指導について計画、立案できる。

C-1-6)-(5)-⑧分娩の想起と肯定的出産体験へのケアについて説明できる。

C-3-4)-(4) 産後うつ病の予防とケア

C-3-4)-(4)-①産後うつ病のスクリーニング法・定義や診断基準について説明できる。

C-3-4)-(4)-②産後うつ病のリスク要因を説明できる。

C-3-4)-(4)-③産後うつ病の予防のための心理・社会面のサポートについて説明できる。



## C-4 新生児・乳幼児の診断とケア

### C-4-1) 新生児の診断とケア

ねらい 新生児の診断とケアについて学ぶ。

学修目標：

C-4-1)-①妊娠・分娩経過に基づいた新生児の健康状態の診断について説明できる。

C-4-1)-②胎外生活への適応状態の診断について説明できる。

C-4-1)-③出生後の呼吸、循環、体温調節、消化器系、泌尿器系、免疫系について説明できる。

C-4-1)-④新生児の生理的体重減少の機序について説明できる。

C-4-1)-⑤新生児の生理的黄疸の発生機序について説明できる。

C-4-1)-⑥新生児の成長発達の診断について説明できる。

C-4-1)-⑦新生児の健康状態の予測について説明できる。

C-4-1)-⑧妊娠・分娩経過に基づいた新生児の健康状態の診断に基づいたケアについて計画、立案できる。

C-4-1)-⑨胎外生活への適応を促進するケアについて計画、立案できる。

C-4-1)-⑩新生児の成長発達を促進するケアについて計画、立案できる。

C-4-1)-⑪新生児の生理的変化の逸脱を予防するケアについて説明できる。

C-4-1)-⑫新生児の正常逸脱状態からの回復に対するケアについて説明できる。

### C-4-2) 乳幼児の診断とケア

ねらい 乳幼児の診断とケアについて学ぶ。

学修目標：

C-4-2)-①乳幼児の成長発達について説明できる。

C-4-2)-②乳幼児の健康診査の意義について説明できる。

C-4-2)-③乳幼児の健康診査の時期と内容について説明できる。

C-4-2)-④予防接種のワクチン名と対象疾患、接種時期・条件・回数について説明できる。

C-4-2)-⑤乳幼児に起こりやすい事故の予防と対策について説明できる。

C-4-2)-⑥乳幼児の成長発達を促進するケアについて説明できる。

## C-2 正常新生児・乳幼児の診断とケア

### C-2-1) 新生児の診断とケア

ねらい 新生児の診断とケアについて学ぶ。

#### 学修目標

C-2-1)-①妊娠・分娩経過に基づいた新生児の健康状態の診断について説明できる。

C-2-1)-②胎外生活への適応状態の診断について説明できる。

C-2-1)-③出生後の呼吸、循環、体温調節、消化器系、泌尿器系、免疫系について説明できる。

C-2-1)-④新生児の生理的体重減少の機序について説明できる。

C-2-1)-⑤新生児の生理的黄疸の発生機序について説明できる。

C-2-1)-⑥新生児の成長発達の診断について説明できる。

C-2-1)-⑦新生児の健康状態の予測について説明できる。

C-2-1)-⑧妊娠・分娩経過に基づいた新生児の健康状態の診断に基づいたケアについて説明できる。

C-2-1)-⑨胎外生活への適応を促進するケアについて説明できる。

C-2-1)-⑩新生児の正常逸脱状態からの回復に対するケアについて説明できる。

C-2-1)-⑪新生児の生理的変化の逸脱を予防するケアについて説明できる。

C-2-1)-⑫新生児の成長発達を促進するケアについて説明できる。

### C-2-2) 乳幼児の診断とケア

ねらい 乳幼児の診断とケアについて学ぶ。

#### 学修目標

C-2-2)-①乳幼児の成長発達について説明できる。

C-2-2)-②乳幼児の健康診査の意義について説明できる。

C-2-2)-③乳幼児の健康診査の時期と内容について説明できる。

C-2-2)-④予防接種のワクチン名と対象疾患、接種時期・条件・回数について説明できる。

C-2-2)-⑤乳幼児に起こりやすい事故の予防と対策について説明できる。

C-2-2)-⑥乳幼児の成長発達を促進するケアについて説明できる。

## D. ハイリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の助産診断とケア

### D-1 ハイリスク妊娠、分娩、産褥経過の助産診断とケア

#### D-1-1) ハイリスク妊娠の助産診断とケア

ねらい 正常妊娠からの逸脱を診断でき、異常時のケアについて学ぶ。

##### D-1-1)-(1) 妊娠悪阻の助産診断とケア

###### 学修目標

D-1-1)-(1)-①妊娠悪阻の症状と検査について説明できる。

D-1-1)-(1)-②妊娠悪阻の症状の増悪に関する因子について説明できる。

D-1-1)-(1)-③妊娠悪阻における日常生活動作の変化とそのケアについて説明できる。

D-1-1)-(1)-④妊娠悪阻の食事、水分摂取、栄養、活動、休息、清潔、排泄に関するケアや保健指導について計画・立案できる。

D-1)-(1)-⑤妊娠悪阻の不安やストレスのケアについて説明できる。

##### D-1-1)-(2) 妊娠貧血の助産診断とケア

###### 学修目標

D-1-1)-(2)-①貧血の検査と重症度および分類について説明できる。

D-1-1)-(2)-②貧血の自覚・他覚症状について説明できる。

D-1-1)-(2)-③貧血の症状の増悪に関する因子について説明できる。

D-1-1)-(2)-④貧血の食事や活動についてのケアおよび保健指導について計画・立案できる。

## D. ハイリスク妊娠褥婦・新生児とその家族の診断とケア

### D-1 ハイリスク妊娠、分娩、産褥経過の診断とケア

#### D-1-1) ハイリスク妊娠の助産診断とケア

ねらい 正常妊娠からの逸脱を診断でき異常時のケアについて学ぶ。

##### D-1-1)-(1) 妊娠悪阻の助産診断とケア

###### 学修目標

D-1-1)-(1)-①妊娠悪阻の症状と検査について説明できる。

D-1-1)-(1)-②妊娠悪阻の症状の増悪に関する因子について説明できる。

D-1-1)-(1)-③妊娠悪阻における日常生活動作の変化とそのケアについて説明できる。

D-1-1)-(1)-④妊娠悪阻の食事、水分摂取、栄養、活動、休息、清潔、排泄に関するケアや保健指導について計画、立案できる。

D-1-1)-(1)-⑤妊娠悪阻の不安やストレスのケアについて説明できる。

##### D-1-1)-(2) 妊娠貧血の助産診断とケア

###### 学修目標

D-1-1)-(2)-①妊娠にともなう生理的変化からの逸脱について説明できる。

D-1-1)-(2)-②貧血の検査と重症度および分類について説明できる。

D-1-1)-(2)-③貧血の自覚・他覚症状について説明できる。

D-1-1)-(2)-④貧血の症状の増悪に関する因子について説明できる。

D-1-1)-(2)-⑤貧血の予防法について説明できる。

D-1-1)-(2)-⑥貧血の食事や活動についてのケアおよび保健指導について計画、立案できる。

D-1-1)-(2)-⑦貧血が妊娠・分娩・産褥経過に及ぼす影響について説明できる。

D-1-1)-(3) 妊娠高血圧症候群（HDP）の助産診断とケア

学修目標

- D-1-1)-(3)-①妊娠高血圧症候群の診断のために必要な検査について説明できる。
- D-1-1)-(3)-②妊娠高血圧症候群の重症度の判定の基準について説明できる。
- D-1-1)-(3)-③妊娠高血圧症候群の症状の増悪に関する因子について説明できる。
- D-1-1)-(3)-④妊娠高血圧症候群の症状が増悪した場合における合併症について説明できる。
- D-1-1)-(3)-⑤重症度別の必要な治療法について理解できる。
- D-1-1)-(3)-⑥主体的で満足のいく生活が出来るための精神的健康へのケアが理解できる。
- D-1-1)-(3)-⑦入院時のケアについて理解できる。
- D-1-1)-(3)-⑧不安やストレスに関するケアについて理解できる。
- D-1-1)-(3)-⑨妊娠経過について説明できる。
- D-1-1)-(3)-⑩胎児の発育と健康上の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(3)-⑪分娩時期の予測が理解できる。
- D-1-1)-(3)-⑫分娩様式が理解できる。

## D-1-1)-(3) 妊娠高血圧症候群（HDP）の助産診断とケア

### 学修目標

D-1-1)-(3)-①妊娠にともなう身体的適応からの逸脱について説明できる。

D-1-1)-(3)-②既往歴、家族歴との関係について説明できる。

D-1-1)-(3)-③妊娠高血圧症候群のリスク因子について説明できる。

D-1-1)-(3)-④妊娠高血圧症候群の症状について説明できる。

D-1-1)-(3)-⑤診断のために必要な検査について説明できる。

D-1-1)-(3)-⑥妊娠高血圧症候群の重症度の判定の基準について説明できる。

D-1-1)-(3)-⑦妊娠高血圧症候群の症状の増悪に関する因子について説明できる。

D-1-1)-(3)-⑧妊娠高血圧症候群の症状が増悪した場合における合併症について説明できる。

D-1-1)-(3)-⑨必要な治療法について重症度別に説明できる。

D-1-1)-(3)-⑩妊娠高血圧症候群の予防のための食事や活動に関する保健指導について計画、立案できる。

D-1-1)-(3)-⑪主体的で満足のいく生活が出来るための精神的健康へのケアを説明できる。

D-1-1)-(3)-⑫入院時のケアについて説明できる。

D-1-1)-(3)-⑬不安やストレスに関するケアについて説明できる。

D-1-1)-(3)-⑭妊娠経過について説明できる。

D-1-1)-(3)-⑮胎児の発育と健康上の逸脱について説明できる。

D-1-1)-(3)-⑯分娩時期の予測について説明できる。

D-1-1)-(3)-⑰分娩様式について説明できる。

#### D-1-1)-(4) 妊娠糖尿病（GDM）の助産診断とケア

##### 学修目標

- D-1-1)-(4)-①糖尿病合併妊娠との鑑別について説明できる。
- D-1-1)-(4)-②GDM の症状と治療について説明できる。
- D-1-1)-(4)-③GDM の症状の増悪に関する因子について説明できる。
- D-1-1)-(4)-④GDM のケアと保健指導について計画・立案できる。
- D-1-1)-(4)-⑤不安やストレスに関するケアについて理解できる。
- D-1-1)-(4)-⑥主体的で満足のいく生活が出来るための精神的健康へのケアが理解できる。
- D-1-1)-(4)-⑦GDM の症状が増悪した時の症状について説明できる。
- D-1-1)-(4)-⑧妊娠経過、分娩経過の予測が理解できる。
- D-1-1)-(4)-⑨分娩様式が理解できる。

#### D-1-1)-(5) 多胎の助産診断とケア

##### 学修目標

- D-1-1)-(5)-①卵性・膜性について説明できる。
- D-1-1)-(5)-②多胎児の発育について説明できる。
- D-1-1)-(5)-③胎位について説明できる。
- D-1-1)-(5)-④子宮增大にともなう身体的変化について説明できる。
- D-1-1)-(5)-⑤子宮増大にともなう身体的変化に対するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(5)-⑥不安やストレスに関するケアについて理解できる。
- D-1-1)-(5)-⑦多胎の身体的不適応状態について理解できる。
- D-1-1)-(5)-⑧妊娠経過、分娩経過の予測が理解できる。
- D-1-1)-(5)-⑨出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアが理解できる。
- D-1-1)-(5)-⑩分娩様式について説明できる。
- D-1-1)-(5)-⑪産褥期の育児支援が理解できる。

#### D-1-1)-(4) 妊娠糖尿病（GDM）の助産診断とケア

##### 学修目標

D-1-1)-(4)-①既往歴、現病歴、家族歴との関係を説明できる。

D-1-1)-(4)-②糖尿病合併妊娠との鑑別について説明できる。

D-1-1)-(4)-③妊娠と耐糖能の関係について説明できる。

D-1-1)-(4)-④妊娠糖尿病のスクリーニングについて説明できる。

D-1-1)-(4)-⑤妊娠経過中の血糖コントロールについて説明できる。

D-1-1)-(4)-⑥胎児の発育と健康状態について説明できる。

D-1-1)-(4)-⑦GDM の症状と治療について説明できる。

D-1-1)-(4)-⑧GDM の症状の増悪に関する因子について説明できる。

D-1-1)-(4)-⑨GDM のケアと保健指導について計画、立案できる。

D-1-1)-(4)-⑩不安やストレスに関するケアについて説明できる。

D-1-1)-(4)-⑪主体的で満足のいく生活が出来るための精神的健康へのケアを説明できる。

D-1-1)-(4)-⑫GDM の予防について説明できる。

D-1-1)-(4)-⑬GDM の症状が増悪した時の症状について説明できる。

D-1-1)-(4)-⑭妊娠経過、分娩経過の予測について説明できる。

D-1-1)-(4)-⑮分娩様式について説明できる。

#### D-1-1)-(5) 多胎の助産診断とケア

##### 学修目標

D-1-1)-(5)-①卵性・膜性について説明できる。

D-1-1)-(5)-②多胎児の発育について説明できる。

D-1-1)-(5)-③胎位について説明できる。

D-1-1)-(5)-④子宮增大にともなう身体的変化について説明できる。

D-1-1)-(5)-⑤子宮増大にともなう身体的変化に対するケアについて説明できる。

D-1-1)-(5)-⑥不安やストレスに関するケアについて説明できる。

D-1-1)-(5)-⑦多胎の身体的不適応状態について説明できる。

D-1-1)-(5)-⑧妊娠経過、分娩経過の予測について説明できる。

D-1-1)-(5)-⑨出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。

D-1-1)-(5)-⑩分娩様式について説明できる。

D-1-1)-(5)-⑪産褥期の育児支援について説明できる。

D-1-1)-(6) 胎児発育不全（FGR）の助産診断とケア

学修目標

- D-1-1)-(6)-①FGR の治療とケアについて理解できる。
- D-1-1)-(6)-②不安やストレスに関するケアが理解できる。
- D-1-1)-(6)-③妊娠経過の予測について説明できる。
- D-1-1)-(6)-④分娩経過の予測について説明できる。
- D-1-1)-(6)-⑤出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアが理解できる。
- D-1-1)-(6)-⑥分娩様式について説明できる。

D-1-1)-(7) 妊娠期間の異常における助産診断とケア

学修目標

- D-1-1)-(7)-①流産・早産の症状および状態について説明できる。
- D-1-1)-(7)-②流産・早産妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(7)-③流産・早産のケアが説明できる。
- D-1-1)-(7)-④流産・早産の妊娠経過の予測が理解できる。
- D-1-1)-(7)-⑤早産の分娩経過および分娩様式の予測について理解できる。
- D-1-1)-(7)-⑥出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて理解できる。
- D-1-1)-(7)-⑦種々の分娩誘発についての留意点とケアが説明できる。
- D-1-1)-(7)-⑧出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて理解できる。

## D-1-1)-(6) 胎児発育不全（FGR）の助産診断とケア

### 学修目標

- D-1-1)-(6)-①既往歴、現病歴、家族歴との関係について説明できる。
- D-1-1)-(6)-②胎児発育および健康状態の逸脱の予期について説明できる。
- D-1-1)-(6)-③FGR の型について説明できる。
- D-1-1)-(6)-④FGR のリスク因子について説明できる。
- D-1-1)-(6)-⑤FGR の治療とケアについて説明できる。
- D-1-1)-(6)-⑥不安やストレスに関するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(6)-⑦FGR の予防について説明できる。
- D-1-1)-(6)-⑧妊娠経過の予測について説明できる。
- D-1-1)-(6)-⑨分娩経過の予測について説明できる。
- D-1-1)-(6)-⑩出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。
- D-1-1)-(6)-⑪分娩様式について説明できる。

## D-1-1)-(7) 妊娠期間の異常における助産診断とケア

### 学修目標

- D-1-1)-(7)-①流産・早産の分類が説明できる。
- D-1-1)-(7)-②流産・早産のリスク因子が説明できる。
- D-1-1)-(7)-③流産・早産の症状および状態について説明できる。
- D-1-1)-(7)-④流産・早産妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(7)-⑤流産・早産の予防について説明できる。
- D-1-1)-(7)-⑥流産・早産のケアが説明できる。
- D-1-1)-(7)-⑦流産・早産の妊娠経過の予測が説明できる。
- D-1-1)-(7)-⑧早産の分娩経過および分娩様式の予測について説明できる。
- D-1-1)-(7)-⑨出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。
- D-1-1)-(7)-⑩過期妊娠におけるリスクについて説明できる。
- D-1-1)-(7)-⑪過期妊娠を予防するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(7)-⑫種々の分娩誘発についての留意点とケアが説明できる。
- D-1-1)-(7)-⑬出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。

D-1-1)-(8) 若年妊娠、高齢妊娠の助産診断とケア

学修目標

D-1-1)-(8)-①高齢・若年妊婦のパートナー、家族に対するケアについて説明できる。

D-1-1)-(8)-②高齢・若年妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。

D-1-1)-(9) 出生前診断に関わるケア

学修目標

D-1-1)-(9)-①各出生前検査の目的、資料の種類、検査時期、結果までの期間、利点と問題点が理解できる。

D-1-1)-(9)-②出生前診断を考える妊婦の意思決定過程への支援について理解できる。

D-1-1)-(9)-③意志決定した妊婦や家族の相談や継続的な心身的支援について理解できる。

D-1-1)-(9)-④出生前診断の過程で生じる心身的負担へのケアについて理解できる。

D-1-1)-(9)-⑤出生前診断や児の治療において利用可能な社会資源について理解できる。

D-1-1)-(8) 若年妊娠と高齢妊娠の助産診断とケア

学修目標

D-1-1)-(8)-①高齢妊娠の身体的特徴および産科学的リスクについて説明できる。

D-1-1)-(8)-②若年妊娠の身体的特徴および産科学的リスクについて説明できる。

D-1-1)-(8)-③高齢妊婦の心理社会的特徴について説明できる。

D-1-1)-(8)-④若年妊婦の心理社会的特徴について説明できる。

D-1-1)-(8)-⑤高齢妊婦のパートナー、家族に対するケアについて説明できる。

D-1-1)-(8)-⑥若年妊婦のパートナー、家族に対するケアについて説明できる。

D-1-1)-(8)-⑦高齢妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。

D-1-1)-(8)-⑧若年妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。

D-1-1)-(9) 出生前診断に関わるケア

学修目標

D-1-1)-(9)-①各出生前検査の目的、資料の種類、検査時期、結果までの期間、利点と問題点について説明できる。

D-1-1)-(9)-②出生前診断を考える妊婦の意思決定過程への支援について多角的に説明できる。

D-1-1)-(9)-③意志決定した妊婦や家族の相談や継続的な心身的支援について説明できる。

D-1-1)-(9)-④出生前診断の過程で生じる心身的負担へのケアについて説明できる。

D-1-1)-(9)-⑤出生前診断や児の治療において利用可能な社会資源について説明できる。

D-1-1)-(10) 胎盤の位置異常（前置胎盤）の助産診断とケア

学修目標

D-1-1)-(10)-①既往歴、妊娠歴との関係について説明できる。

D-1-1)-(10)-②胎盤付着部位の分類について説明できる。

D-1-1)-(10)-③妊娠週数と胎盤の移動について説明できる。

D-1-1)-(10)-④前置・低置胎盤の症状と治療について理解できる。

D-1-1)-(10)-⑤妊婦の不安やストレスに関するケアについて理解できる。

D-1-1)-(10)-⑥入院時のケアについて理解できる。

D-1-1)-(10)-⑦出血に対する予防的ケアについて理解できる。

D-1-1)-(10)-⑧検査について説明できる。

D-1-1)-(10)-⑨妊娠経過の予測が理解できる。

D-1-1)-(10)-⑩分娩時期が理解できる。

D-1-1)-(10)-⑪分娩様式が理解できる。

D-1-1)-(10)-⑫出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて理解できる。

D-1-1)-(11) 合併症（心疾患、腎・泌尿器疾患、呼吸器疾患、甲状腺疾患、自己免疫疾患、精神・神経疾患、糖尿病、子宮筋腫等）妊娠の助産診断とケア

学修目標

D-1-1)-(11)-①疾患の種類と発症時期について理解できる。

D-1-1)-(11)-②疾患の症状と検査について理解できる。

D-1-1)-(11)-③妊娠継続の可否についての基準が理解できる。

D-1-1)-(11)-④疾患が妊娠に与える影響について理解できる。

D-1-1)-(11)-⑤胎児への影響と発育の逸脱について理解できる。

D-1-1)-(11)-⑥妊婦の不安やストレスに関するケアについて理解できる。

D-1-1)-(11)-⑦妊娠経過の予測について述べられる。

D-1-1)-(11)-⑧出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて述べられる。

## D-1-1)-(10) 前置胎盤の助産診断とケア

### 学修目標

- D-1-1)-(10)-①既往歴、妊娠歴との関係について説明できる。
- D-1-1)-(10)-②胎盤付着部位の分類について説明できる。
- D-1-1)-(10)-③妊娠週数と胎盤の移動について説明できる。
- D-1-1)-(10)-④前置胎盤の症状と治療について説明できる。
- D-1-1)-(10)-⑤前置胎盤妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(10)-⑥入院時のケアについて説明できる。
- D-1-1)-(10)-⑦出血に対する予防的ケアについて説明できる。
- D-1-1)-(10)-⑧検査について説明できる。
- D-1-1)-(10)-⑨妊娠経過の予測について説明できる。
- D-1-1)-(10)-⑩分娩時期について説明できる。
- D-1-1)-(10)-⑪分娩様式について説明できる。
- D-1-1)-(10)-⑫出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。

## D-1-1)-(11) 心疾患合併妊娠の助産診断とケア

### 学修目標

- D-1-1)-(11)-①心疾患の種類と発症時期について説明できる。
- D-1-1)-(11)-②心疾患の症状と予備心機能検査について説明できる。
- D-1-1)-(11)-③妊娠継続の可否についての基準を説明できる。
- D-1-1)-(11)-④妊娠が生理的に心疾患に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(11)-⑤妊娠における心機能の生理的症状の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(11)-⑥心疾患が妊娠に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(11)-⑦胎児への影響と発育の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(11)-⑧妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(11)-⑨妊娠経過の予測について説明できる。
- D-1-1)-(11)-⑩出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。

D-1-1)-(12) その他の正常経過からの逸脱・産科合併症の助産診断とケア

学修目標

D-1-1)-(12)-①異所性妊娠、頸管無力症、絨毛膜羊膜炎、血液型不適合妊娠等の病態が説明できる。

D-1-1)-(12)-②逸脱・合併症による症状と検査について説明できる。

D-1-1)-(12)-③薬物療法の種類と適応および必要な治療について理解できる。

D-1-1)-(12)-④妊婦の不安やストレスに関するケアについて理解できる。

D-1-1)-(12)-⑤妊娠経過の予測が理解できる。

D-1-1)-(12)-⑥出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアが理解できる。

D-1-1)-(13) 母子感染（サイトメガロウィルス、H T L V-1、クラミジア、トキソプラズマ、B群溶連菌等）症の助産診断とケア

学修目標

D-1-1)-(13)-①母子感染症の感染様式と感染経路について説明できる。

D-1-1)-(13)-②母子感染症の病原体が理解できる。

D-1-1)-(13)-③母子感染症の種類と症状、検査について理解できる。

D-1-1)-(13)-④母子感染症の胎児および新生児に及ぼす影響について理解できる。

D-1-1)-(13)-⑤母子感染症の種類による分娩様式が理解できる。

D-1-1)-(13)-⑥母子感染症の種類と母体治療についてが理解できる。

## D-1-1)-(12) 腎・泌尿器疾患合併妊娠の助産診断とケア

### 学修目標

- D-1-1)-(12)-①腎・泌尿器系疾患の種類と発症時期について説明できる。
- D-1-1)-(12)-②腎・泌尿器系の症状と検査について説明できる。
- D-1-1)-(12)-③妊娠継続の可否についての基準を説明できる。
- D-1-1)-(12)-④妊娠が生理的に腎・泌尿器系に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(12)-⑤妊娠における腎機能の生理的症状の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(12)-⑥腎・泌尿器疾患が妊娠に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(12)-⑦妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(12)-⑧妊娠経過の予測について説明できる。
- D-1-1)-(12)-⑨出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。

## D-1-1)-(13) 呼吸器系疾患合併妊娠の助産診断とケア

### 学修目標

- D-1-1)-(13)-①呼吸器系疾患の種類と発症時期について説明できる。
- D-1-1)-(13)-②呼吸器系の症状と検査について説明できる。
- D-1-1)-(13)-③妊娠時の薬物療法の種類と適応について説明できる。
- D-1-1)-(13)-④妊娠継続の可否についての基準を説明できる。
- D-1-1)-(13)-⑤妊娠が生理的に呼吸器系に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(13)-⑥妊娠における呼吸機能の生理的症状の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(13)-⑦呼吸器系疾患が妊娠に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(13)-⑧胎児への影響と発育の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(13)-⑨妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(13)-⑩妊娠経過の予測について説明できる。
- D-1-1)-(13)-⑪出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。



## D-1-1)-(14) 甲状腺疾患合併妊娠の助産診断とケア

### 学修目標

- D-1-1)-(14)-①甲状腺疾患の種類と発症時期について説明できる。
- D-1-1)-(14)-②甲状腺疾患の症状と検査について説明できる。
- D-1-1)-(14)-③妊娠時の薬物療法の種類と適応について説明できる。
- D-1-1)-(14)-④妊娠継続の可否についての基準を説明できる。
- D-1-1)-(14)-⑤妊娠が生理的に甲状腺に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(14)-⑥妊娠における甲状腺機能の生理的症状の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(14)-⑦甲状腺疾患が妊娠に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(14)-⑧胎児への影響と発育の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(14)-⑨妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(14)-⑩妊娠経過の予測について説明できる。
- D-1-1)-(14)-⑪出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。

## D-1-1)-(15) 自己免疫疾患合併妊娠の助産診断とケア

### 学修目標

- D-1-1)-(15)-①自己免疫疾患の種類と発症時期について説明できる。
- D-1-1)-(15)-②自己免疫疾患の症状と検査について説明できる。
- D-1-1)-(15)-③妊娠時の薬物療法の種類と適応について説明できる。
- D-1-1)-(15)-④妊娠継続の可否についての基準を説明できる。
- D-1-1)-(15)-⑤妊娠が生理的に自己免疫疾患に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(15)-⑥妊娠における自己免疫の生理的症状の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(15)-⑦自己免疫疾患が妊娠に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(15)-⑧胎児への影響と発育の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(15)-⑨妊婦の不安やストレスに関するケアについて説明できる。
- D-1-1)-(15)-⑩妊娠経過の予測について説明できる。
- D-1-1)-(15)-⑪出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。



## D-1-1)-(16) 精神・神経疾患合併妊娠の助産診断とケア

### 学修目標

- D-1-1)-(16)-①精神・神経疾患の種類と発症時期について説明できる。
- D-1-1)-(16)-②精神・神経疾患の症状と検査について説明できる。
- D-1-1)-(16)-③妊娠時の薬物療法の種類と適応について説明できる。
- D-1-1)-(16)-④妊娠が精神・神経疾患に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(16)-⑤精神・神経疾患が妊娠に与える影響について説明できる。
- D-1-1)-(16)-⑥胎児への影響と発育の逸脱について説明できる。
- D-1-1)-(16)-⑦妊娠や家族の不安やストレスについて説明できる。
- D-1-1)-(16)-⑧妊娠経過の予測について説明できる予測について説明できる。
- D-1-1)-(16)-⑨出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定へのケアについて説明できる。

## D-1-1)-(17) 母子感染症の助産診断とケア

### 学修目標

- D-1-1)-(17)-①母子感染症の感染様式と感染経路について説明できる。
- D-1-1)-(17)-②母子感染症の病原体について説明できる。
- D-1-1)-(17)-③母子感染症の種類と症状について説明できる。
- D-1-1)-(17)-④母子感染症の種類と検査について説明できる。
- D-1-1)-(17)-⑤母子感染症の胎児および新生児に及ぼす影響について説明できる。
- D-1-1)-(17)-⑥母子感染症の種類と分娩様式について説明できる。
- D-1-1)-(17)-⑦母子感染症の種類と予防法について説明できる。
- D-1-1)-(17)-⑧母子感染症の種類と母体治療について説明できる。
- D-1-1)-(17)-⑨母子感染症における児の治療について説明できる。
- D-1-1)-(17)-⑩母乳感染について予防法や乳房ケアについて説明できる。

## D-1-2)ハイリスク分娩の助産診断とケア

ねらい 正常分娩からの逸脱を診断でき、異常時のケアについて学ぶ。

### D-1-2)-(1) 陣痛異常の助産診断とケア

学修目標

D-1-2)-(1)-①微弱陣痛、過強陣痛の診断基準および分類について説明できる。

D-1-2)-(1)-②陣痛異常に関する不安や心配事へのケアを説明できる。

D-1-2)-(1)-③分娩様式に関する不安へのケアを説明できる。

D-1-2)-(1)-④分娩進行にともなう自己コントロールへのケアを説明できる。

D-1-2)-(1)-⑤陣痛異常の産婦の産痛の対処法へのケアを説明できる。

D-1-2)-(1)-⑥分娩経過の予測について分類毎に説明できる。

D-1-2)-(1)-⑦陣痛異常における胎児の健康状態の査定法を説明できる。

D-1-2)-(1)-⑧微弱陣痛時の陣痛を増強させる治療とケアについて説明できる。

D-1-2)-(1)-⑨過強陣痛に対する処置やケアについて緊急性をふまえ理解できる。

### D-1-2)-(2) 胎位・胎勢（回旋）の異常の助産診断とケア

学修目標

D-1-2)-(2)-①反屈位（前頭位、額位、顔位）・低在横定位・後方後頭位の診断基準および分類について説明できる。

D-1-2)-(2)-②内診所見について説明できる。

D-1-2)-(2)-③各回旋異常の分娩経過の予測を説明できる。

D-1-2)-(2)-④各回旋異常からの正常性への助産ケアについて説明できる。

D-1-2)-(2)-⑤分娩様式について説明できる。

D-1-2)-(2)-⑥分娩様式に関する不安へのケアを説明できる。

D-1-2)-(2)-⑦回旋異常時の胎児の健康状態の査定法について説明できる。

## D-1-2) ハイリスク分娩の診断とケア

ねらい 正常分娩からの逸脱を診断でき異常時のケアについて学ぶ。

### D-1-2)-(1) 陣痛異常

学修目標

D-1-2)-(1)-①微弱陣痛、過強陣痛の診断基準および分類について説明できる。

D-1-2)-(1)-②分娩経過に沿った陣痛周期の正常からの逸脱について説明できる。

D-1-2)-(1)-③陣痛持続時間について正常からの逸脱を説明できる。

D-1-2)-(1)-④微弱陣痛および過強陣痛を発生させる因子について説明できる。

D-1-2)-(1)-⑤陣痛異常を予防する助産ケアについて説明できる。

D-1-2)-(1)-⑥陣痛異常に關する不安や心配事へのケアを説明できる。

D-1-2)-(1)-⑦分娩様式に關する不安へのケアを説明できる。

D-1-2)-(1)-⑧分娩進行にともなう自己コントロールへのケアを説明できる。

D-1-2)-(1)-⑨陣痛異常の産婦の産痛の対処法へのケアを説明できる。

D-1-2)-(1)-⑩分娩経過の予測について分類毎に説明できる。

D-1-2)-(1)-⑪陣痛異常における胎児の健康状態の査定法を説明できる。

D-1-2)-(1)-⑫微弱陣痛時の陣痛を増強させるケアについて説明できる。

D-1-2)-(1)-⑬過強陣痛に対する処置やケアについて緊急性をふまえ説明できる。

### D-1-2)-(2) 回旋の異常

学修目標

D-1-2)-(2)-①反屈位（前頭位、額位、顔位）・低在横定位・後方後頭位の診断基準および分類について説明できる。

D-1-2)-(2)-②内診所見について説明できる。

D-1-2)-(2)-③回旋異常の発生因子について説明できる。

D-1-2)-(2)-④回旋異常を予防する助産ケアについて説明できる。

D-1-2)-(2)-⑤各回旋異常の分娩経過の予測を説明できる。

D-1-2)-(2)-⑥各回旋異常からの正常性への助産ケアについて説明できる。

D-1-2)-(2)-⑦分娩様式について説明できる。

D-1-2)-(2)-⑧分娩様式に關する不安へのケアを説明できる。

D-1-2)-(2)-⑨回旋異常時の胎児の健康状態の査定法について説明できる。

### D-1-2)-(3) 児頭進入異常の助産診断とケア

#### 学修目標

D-1-2)-(3)-①不正軸進入（前方、後方）・高在縦定位の診断基準および分類について説明できる。

D-1-2)-(3)-②内診所見について説明できる。

D-1-2)-(3)-③各児頭進入異常における分娩経過の予測について説明できる。

D-1-2)-(3)-④分娩様式について説明できる。

D-1-2)-(3)-⑤分娩様式に関する不安へのケアを説明できる。

D-1-2)-(3)-⑥不正軸進入時の胎児の健康状態の査定法を説明できる。

### D-1-2)-(4) 胎位異常の助産診断とケア

#### 学修目標

D-1-2)-(4)-①骨盤位・横位の診断基準および分類について説明できる。

D-1-2)-(4)-②内診所見について説明できる。

D-1-2)-(4)-③骨盤位・横位における分娩経過の予測について理解できる。

D-1-2)-(4)-④分娩様式について説明できる。

D-1-2)-(4)-⑤分娩様式に関する不安へのケアが理解できる。

D-1-2)-(4)-⑥骨盤位・横位時の胎児の健康状態の査定法が理解できる。

### D-1-2)-(3) 児頭進入の異常

#### 学修目標

- D-1-2)-(3)-①不正軸進入（前方、後方）・高在縦定位の診断基準および分類について説明できる。
- D-1-2)-(3)-②内診所見について説明できる。
- D-1-2)-(3)-③児頭進入異常の発生因子について説明できる。
- D-1-2)-(3)-④児頭進入異常を予防する助産ケアについて説明できる。
- D-1-2)-(3)-⑤各児頭進入異常における分娩経過の予測について説明できる。
- D-1-2)-(3)-⑥各児頭進入異常からの正常性への助産ケアについて説明できる。
- D-1-2)-(3)-⑦分娩様式について説明できる。
- D-1-2)-(3)-⑧分娩様式に関する不安へのケアを説明できる。
- D-1-2)-(3)-⑨不正軸進入時の胎児の健康状態の査定法を説明できる。

### D-1-2)-(4) 胎位の異常

#### 学修目標

- D-1-2)-(4)-①骨盤位・横位の診断基準および分類について説明できる。
- D-1-2)-(4)-②内診所見について説明できる。
- D-1-2)-(4)-③骨盤位・横位の発生因子について説明できる。
- D-1-2)-(4)-④骨盤位・横位を予防する助産ケアについて説明できる。
- D-1-2)-(4)-⑤骨盤位・横位における分娩経過の予測について説明できる。
- D-1-2)-(4)-⑥骨盤位・横位からの正常性への助産ケアについて説明できる。
- D-1-2)-(4)-⑦分娩様式について説明できる。
- D-1-2)-(4)-⑧分娩様式に関する不安へのケアを説明できる。
- D-1-2)-(4)-⑨骨盤位・横位時の胎児の健康状態の査定法を説明できる。

D-1-2)-(5) 胎児機能不全の助産診断とケア

学修目標

D-1-2)-(5)-①胎児心拍モニタリングから胎児機能不全の診断について説明できる。

D-1-2)-(5)-②胎児機能不全の原因と関連因子とその除去法について説明できる。

D-1-2)-(5)-③妊婦の不安へのケアを説明できる。

D-1-2)-(5)-④分娩様式について説明できる。

D-1-2)-(5)-⑤骨盤出口部拡大体位について説明できる。

D-1-2)-(5)-⑥吸引・鉗子分娩時の介助について説明できる。

D-1-2)-(6) 破水時期の異常の助産診断とケア

学修目標

D-1-2)-(6)-①破水時期の異常における分娩時の胎児状態の査定法を説明できる。

D-1-2)-(6)-②分娩時の胎児の状態の査定法について説明できる。

D-1-2)-(6)-③妊婦の不安へのケアを説明できる。

D-1-2)-(6)-④緊急を要する場合の処置やケアについて説明できる。

D-1-2)-(6)-⑤急速遂娩について説明できる。

D-1-2)-(7) 羊水量の異常の助産診断とケア

学修目標

D-1-2)-(7)-①羊水過多・羊水過少の定義および診断基準について説明できる。

D-1-2)-(7)-②羊水異常の妊婦の不安へのケアを理解できる。

D-1-2)-(7)-③胎児の健康状態の査定法について説明できる。

D-1-2)-(7)-④分娩様式が理解できる。

D-1-2)-(8) 胎児附属物（臍帯下垂・脱出、癒着胎盤等）の異常の助産診断とケア

学修目標

D-1-2)-(8)-①胎児附属物の異常の原因が説明できる。

D-1-2)-(8)-②胎児附属物の異常における症状およびその診断について説明できる。

D-1-2)-(8)-③胎児附属物の異常における治療が理解できる。

D-1-2)-(8)-④産婦の不安へのケアを理解できる。

D-1-2)-(8)-⑤分娩様式について理解できる。

## D-1-2)-(5) 胎児機能不全

### 学修目標

- D-1-2)-(5)-①胎児心拍モニタリングから胎児機能不全の診断について説明できる。
- D-1-2)-(5)-②胎児機能不全と羊水混濁との関係について説明できる。
- D-1-2)-(5)-③胎児機能不全を予防する助産ケアについて説明できる。
- D-1-2)-(5)-④胎児機能不全の原因と関連因子とその除去法について説明できる。
- D-1-2)-(5)-⑤胎児機能不全からの正常性への助産ケアについて説明できる。
- D-1-2)-(5)-⑥妊婦の不安へのケアを説明できる。
- D-1-2)-(5)-⑦分娩様式について説明できる。
- D-1-2)-(5)-⑧子宮底圧迫法（クリステル胎児圧出法）の介助について説明できる。
- D-1-2)-(5)-⑨骨盤出口部拡大体位について説明できる。
- D-1-2)-(5)-⑩吸引・鉗子分娩時の介助について説明できる。

## D-1-2)-(6) 破水時期の異常

### 学修目標

- D-1-2)-(6)-①前期破水・早期破水の定義および診断基準について説明できる。
- D-1-2)-(6)-②破水の診断に用いられる検査法について説明できる。
- D-1-2)-(6)-③前期破水発生の因子について説明できる。
- D-1-2)-(6)-④破水を予防する助産ケアについて説明できる。
- D-1-2)-(6)-⑤破水時期の異常における分娩時の胎児状態の査定法を説明できる。
- D-1-2)-(6)-⑥分娩時の胎児の状態の査定法について説明できる。
- D-1-2)-(6)-⑦妊婦の不安へのケアを説明できる。
- D-1-2)-(6)-⑧緊急を要する場合の処置やケアについて説明できる。
- D-1-2)-(6)-⑨急速遂娩について説明できる。

## D-1-2)-(7) 羊水の異常

### 学修目標

- D-1-2)-(7)-①羊水過多・羊水過少の定義診断基準について説明できる。
- D-1-2)-(7)-②羊水の正常逸脱の予測について説明できる。
- D-1-2)-(7)-③羊水過多・羊水過少の因子について説明できる。
- D-1-2)-(7)-④羊水異常の妊婦の不安へのケアを説明できる。
- D-1-2)-(7)-⑤胎児の健康状態の査定法について説明できる。
- D-1-2)-(7)-⑥分娩様式について説明できる。

D-1-2)-(9) 常位胎盤早期剥離の助産診断とケア

学修目標

- D-1-2)-(9)-①胎盤早期剥離の予測因子について説明できる。
- D-1-2)-(9)-②胎盤早期剥離の早期診断について症状や所見を含めて説明できる。
- D-1-2)-(9)-③胎盤早期剥離の検査項目について説明できる。
- D-1-2)-(9)-④産科D I Cとの関係について説明できる。
- D-1-2)-(9)-⑤重症度に沿った分娩様式が理解できる。
- D-1-2)-(9)-⑥産婦への不安のケアが理解できる。
- D-1-2)-(9)-⑦緊急を要する場合の処置やケアについて理解できる。
- D-1-2)-(9)-⑧緊急帝王切開術の準備について理解できる。
- D-1-2)-(9)-⑨家族へのケアについて理解できる。
- D-1-2)-(9)-⑩児の出生児のケアについて理解できる。

D-1-2)-(10) 子瘤の助産診断とケア

学修目標

- D-1-2)-(10)-①子瘤のハイリスク因子について説明できる。
- D-1-2)-(10)-②子瘤の発現時期および誘発因子について説明できる。
- D-1-2)-(10)-③子瘤の診断について症状や他疾患との鑑別点を含め説明できる。
- D-1-2)-(10)-④子瘤発作時の処置やケアについて理解できる。
- D-1-2)-(10)-⑤呼吸・循環の管理と外傷および再発の防止のケアについて理解できる。
- D-1-2)-(10)-⑥家族へのケアについて理解できる。
- D-1-2)-(10)-⑦児の出生時のケアについて述べられる。

## D-1-2)-(8) 常位胎盤早期剥離

### 学修目標

- D-1-2)-(8)-①胎盤早期剥離の予測因子について説明できる。
- D-1-2)-(8)-②胎盤早期剥離の早期診断について症状や所見を含めて説明できる。
- D-1-2)-(8)-③胎盤早期剥離の検査項目について説明できる。
- D-1-2)-(8)-④産科DICとの関係について説明できる。
- D-1-2)-(8)-⑤重症度に沿った分娩様式について説明できる。
- D-1-2)-(8)-⑥産婦への不安のケアを説明できる。
- D-1-2)-(8)-⑦緊急を要する場合の処置やケアについて説明できる。
- D-1-2)-(8)-⑧緊急帝王切開術の準備について説明できる。
- D-1-2)-(8)-⑨家族へのケアについて説明できる。
- D-1-2)-(8)-⑩児の出生児のケアについて説明できる。

## D-1-2)-(9) 子癇

### 学修目標

- D-1-2)-(9)-①子癇のハイリスク因子について説明できる。
- D-1-2)-(9)-②子癇の発現時期および誘発因子について説明できる。
- D-1-2)-(9)-③子癇の診断について症状や他疾患との鑑別点を含め説明できる。
- D-1-2)-(9)-④子癇発作時の処置やケアについて説明できる。
- D-1-2)-(9)-⑤呼吸・循環の管理と外傷および再発の防止のケアについて説明できる。
- D-1-2)-(9)-⑥家族へのケアについて説明できる。
- D-1-2)-(9)-⑦児の出生時のケアについて説明できる。

D-1-2)-(11) 子宮内胎児死亡（IUFN）の助産診断とケア

学修目標

- D-1-2)-(11)-①IUFN のハイリスク因子について理解できる。
- D-1-2)-(11)-②IUFN の確定診断について検査法を含め理解できる。
- D-1-2)-(11)-③時期に合わせた分娩方法が理解できる。
- D-1-2)-(11)-④母体の健康状態における観察項目とケアについて理解できる。
- D-1-2)-(11)-⑤胎児や胎児附属物の状態から子宮内環境及び死亡時期の査定について述べられる。
- D-1-2)-(11)-⑥段階的な精神的ケアについて理解できる。
- D-1-2)-(11)-⑦退院後の生活や家族計画指導について理解できる。

D-1-2)-(12) 分娩後異常出血（大量出血・産科危機的出血）の助産診断とケア

学修目標

- D-1-2)-(12)-①大量出血のリスク因子について説明できる。
- D-1-2)-(12)-②大量出血の診断指標について説明できる。
- D-1-2)-(12)-③大量出血について症状や他疾患との鑑別点を含め説明できる。
- D-1-2)-(12)-④大量出血の原因除去と緊急を要する処置やケアについて説明できる。
- D-1-2)-(12)-⑤大量出血の治療や産褥の経過について説明できる。
- D-1-2)-(12)-⑥産後の大量出血予防のための積極的管理について説明できる。
- D-1-2)-(12)-⑦産科危機的出血の判断指標について説明できる。
- D-1-2)-(12)-⑧産科危機的出血への対応フローチャートについて説明できる。
- D-1-2)-(12)-⑨産科危機的出血への対応について模擬実施できる。

D-1-2)-(13) 産科手術および産科的医療処置が必要な産婦へのケア

学修目標

- D-1-2)-(13)-①産科手術および産科的医療処置（吸引・かん子遂娩術、産科麻酔、腹式帝王切開術、会陰切開・縫合術、分娩誘発・促進、子宮底圧迫法、骨盤位牽出術、胎盤圧出法・用手剥離、子宮摘出術、子宮腔内タンポナーデ、動脈塞栓術による止血）の適応、要約が説明できる。
- D-1-2)-(13)-②産科手術および産科的医療処置の準備とその方法が理解できる。
- D-1-2)-(13)-③産科手術および産科的医療処置を受ける産婦に対する助産ケアが理解できる。

## D-1-2)-(10) 子宮内胎児死亡 (IUFD)

### 学修目標

D-1-2)-(10)-①IUFD のハイリスク因子について説明できる。

D-1-2)-(10)-②IUFD の確定診断について検査法を含め説明できる。

D-1-2)-(10)-③時期に合わせた分娩方法について説明できる。

D-1-2)-(10)-④母体の健康状態における観察項目とケアについて説明できる。

D-1-2)-(10)-⑤胎児や胎児付属物の状態から子宮内環境及び死亡時期の査定について説明できる。

D-1-2)-(10)-⑥段階的な精神的ケアについて説明できる。

D-1-2)-(10)-⑦退院後の生活や家族計画指導について説明できる。

## D-1-2)-(11) 分娩後異常出血 (大量出血・産科危機的出血)

### 学修目標

D-1-2)-(11)-①大量出血のリスク因子について説明できる。

D-1-2)-(11)-②大量出血の診断指標について説明できる。

D-1-2)-(11)-③大量出血について症状や他疾患との鑑別点を含め説明できる。

D-1-2)-(11)-④大量出血の原因除去と緊急を要する処置やケアについて説明できる。

D-1-2)-(11)-⑤大量出血の治療や産褥の経過について説明できる。

D-1-2)-(11)-⑥産後の大量 出血予防のための積極的管理について説明できる。

D-1-2)-(11)-⑦産科危機的出血の判断指標について説明できる。

D-1-2)-(11)-⑧産科危機的出血への対応フローチャートについて説明できる。

D-1-2)-(11)-⑨産科危機的出血への対応について実施できる。

## D-1-2)-(12) 産科手術・産科的医療処置

### 学修目標

D-1-2)-(12)-①吸引遂姫術の適応、要約、手技について説明できる。

D-1-2)-(12)-②鉗子遂姫術の適応、要約、手技について説明できる。

D-1-2)-(12)-③帝王切開術の適応、要約、術式、合併症について説明できる。

D-1-2)-(12)-④急速遂姫術時のケアについて説明できる。

D-1-2)-(12)-⑤会陰切開術の適応、種類、手技について説明できる。

D-1-2)-(12)-⑥胎盤圧出法の適応、手技について説明できる。

D-1-2)-(12)-⑦胎盤用手剥離術の適応、手技について説明できる。

D-1-2)-(12)-⑧産科的医療処置時のケアについて説明できる。

#### D-1-2)-(14) 緊急時・搬送時の産婦へのケア

##### 学修目標

D-1-2)-(14)-①応急処置（物品と薬剤、止血法、会陰裂傷縫合術、母体の蘇生法、出血性ショック・非出血性ショック時の処置、A E D、異常出血に対する処置）が理解できる。

D-1-2)-(14)-②緊急時の対応として、妊産婦への説明と同意、妊産婦・家族への心理的支援が理解できる。

D-1-2)-(14)-③搬送時の対応（母体搬送・新生児搬送の適応と対応、多職種・他機関の協働と連携、周産期医療体制）が述べられる。

#### D-1-3)ハイリスク産褥の助産診断とケア

ねらい 正常産褥からの逸脱を診断でき、異常時のケアについて学ぶ。

D-1-3)-(1) 正常経過からの逸脱（子宮復古不全、恥骨結合離解、頸管・腔・会陰裂傷、深部静脈血栓等）の助産診断とケア

##### 学修目標

D-1-3)-(1)-①正常経過からの逸脱の症状や他疾患との鑑別点を含め状態を説明できる。

D-1-3)-(1)-②緊急性をふまえた処置やケアについて説明できる。

D-1-3)-(1)-③妊娠・分娩経過との関係について説明できる。

D-1-3)-(1)-④産褥経過や育児に及ぼす影響について説明できる。

#### D-1-3)-(2) 播種性血管内凝固症候群（DIC）、産科 DIC の助産診断とケア

##### 学修目標

D-1-3)-(2)-①DIC における臓器の変化、血液の変化について説明できる。

D-1-3)-(2)-②産科 DIC をきたしやすい基礎疾患について説明できる。

D-1-3)-(2)-③DIC の診断について診断基準や検査値を含め説明できる。

D-1-3)-(2)-④DIC スコアについて説明できる。

D-1-3)-(2)-⑤DIC 治療について薬剤を含め述べられる。

D-1-3)-(2)-⑥緊急を要する場合のバイタルサインや状態について理解できる。

D-1-3)-(2)-⑦DIC を予防するためのケアについて述べられる。

### D-1-3) 産褥期のハイリスク診断とケア

ねらい 正常産褥からの逸脱を診断でき異常時のケアについて学ぶ。

#### D-1-3)-(1) 子宮復古不全

学修目標

D-1-3)-(1)-①子宮復古不全のハイリスク因子について説明できる。

D-1-3)-(1)-②子宮不子不全について症状や他疾患との鑑別点をふくめ説明できる。

D-1-3)-(1)-③緊急性をふまえた処置やケアについて説明できる。

D-1-3)-(1)-④母体の状態把握と子宮収縮のケアについて説明できる。

D-1-3)-(1)-⑤子宮復古不全における止血法について説明できる。

D-1-3)-(1)-⑥子宮不子不全を予防するためにケアについて説明できる。

#### D-1-3)-(1) 頸管・臍・会陰裂傷

学修目標

D-1-3)-(1)-①頸管・臍・会陰裂傷のハイリスク因子について説明できる。

D-1-3)-(1)-②頸管・臍・会陰裂傷の診断について症状や他の疾患との鑑別点を含め説明できる。

D-1-3)-(1)-③頸管・臍・会陰裂傷時の処置やケアについて説明できる。

D-1-3)-(1)-④頸管・臍・会陰裂傷における止血法について説明できる。

D-1-3)-(1)-⑤頸管・臍・会陰裂傷を予防するためのケアについて説明できる。

#### D-1-3)-(3) 播種性血管内凝固症候群 (DIC)

学修目標

D-1-3)-(3)-①DIC における臓器の変化、血液の変化について説明できる。

D-1-3)-(3)-②産科 DIC をきたしやすい基礎疾患について説明できる。

D-1-3)-(3)-③DIC の診断について診断基準や検査値を含め説明できる。

D-1-3)-(3)-④DIC スコアについて説明できる。

D-1-3)-(3)-⑤DIC 治療について薬剤を含め概説することができる。

D-1-3)-(3)-⑥緊急を要する場合のバイタルサインや状態について説明できる。

D-1-3)-(3)-⑦DIC を予防するためのケアについて説明できる。

D-1-3)-(3) 乳房トラブルの助産診断とケア

学修目標

D-1-3)-(3)-①各乳房トラブルの症状や状態を説明できる。

D-1-3)-(3)-②妊娠分娩経過との関係について説明できる。

D-1-3)-(3)-③各乳房トラブルにおける授乳回数や搾乳、人工乳追加の是非について説明できる。

#### D-1-3)-(4) 乳房トラブル

##### 学修目標

D-1-3)-(4)-①乳頭トラブル・乳房うっ積うつ滞・乳腺炎の原因について説明できる。

D-1-3)-(4)-②乳頭トラブル・乳房うっ積うつ滞・乳腺炎の発生因子について説明できる。

D-1-3)-(4)-③各乳房トラブルの症状や状態を説明できる。

D-1-3)-(4)-④妊娠分娩経過との関係について説明できる。

D-1-3)-(4)-⑤不適切なラッチオンやポジショニングを正すケア方法について説明できる。

D-1-3)-(4)-⑥各乳房トラブルにおける授乳回数や搾乳、人工乳追加の是非について説明できる。

D-1-3)-(4)-⑦児の健康状態との関係について説明できる。

D-1-3)-(4)-⑧母親の睡眠や食事、ストレス等との関係について説明できる。

D-1-3)-(4)-⑨母乳育児に対する意志との関係について説明できる。

D-1-3)-(4)-⑩母親の授乳に対するセルフケア能力の査定について説明できる。

#### D-1-3)-(5) 母乳不足感

##### 学修目標

D-1-3)-(5)-①母乳不足であるか母乳不足感であるのかの査定方法について説明できる。

D-1-3)-(5)-②児の体重増加や全身状態との関係について説明できる。

D-1-3)-(5)-③乳房緊満感と乳汁生成期の関係について説明できる。

D-1-3)-(5)-④母親の授乳手技や母乳育児に関する自尊感情へのケアについて説明できる。

D-1-3)-(5)-⑤母親の精神的ストレスや疲労、サポート状況の査定について説明できる。

D-1-3)-(5)-⑥母乳不足感への具体的ケアについて説明できる。

D-1-3)-(5)-⑦乳房トラブルを予防するためのケアについて説明できる。

D-1-3)-(4) 産後うつ病の助産診断とケア

学修目標

D-1-3)-(4)-①確定診断の方法について理解できる。

D-1-3)-(4)-②産褥経過の予測を児の世話を含め理解できる。

D-1-3)-(4)-③産後うつ病の治療と予後について理解できる。

D-1-3)-(4)-④産後うつ病の母親への具体的ケアについて理解できる。

D-1-3)-(5) 喪失体験（流産・胎内死亡の経験、帝王切開既往等）をした女性とその家族へのケア

学修目標

D-1-3)-(5)-①喪失体験の特徴が理解できる。

D-1-3)-(5)-②帝王切開分娩をする女性と家族の喪失体験を予防するケアについて説明できる。

D-1-3)-(5)-③帝王切開分娩による喪失体験をした女性と家族へのケアについて理解できる。

D-1-3)-(5)-④ペリネイタルロスによる情緒・身体・認知・行動的症状について理解できる。

D-1-3)-(5)-⑤ペリネイタルロスに伴う悲嘆の心理過程について理解できる。

D-1-3)-(5)-⑥ペリネイタルロスを体験した女性と家族へのケアについて理解できる。

### D-1-3)-(6) 産後うつ病

#### 学修目標

D-1-3)-(6)-①産後うつ病の定義や診断基準について説明できる。

D-1-3)-(6)-②産後うつ病の身体的・心理的・児について・サポートについての要因を説明できる。

D-1-3)-(6)-③日常生活の障害レベルの査定法について説明できる。

D-1-3)-(6)-④スクリーニング法について説明できる。

D-1-3)-(6)-⑤確定診断の方法について説明できる。

D-1-3)-(6)-⑥産褥経過の予測を見の世話を含め説明できる。

D-1-3)-(6)-⑦産後うつ病の治療と予後について説明できる。

D-1-3)-(6)-⑧産後うつ病の母親への具体的ケアについて説明できる。

D-1-3)-(6)-⑨産後うつ病を予防するためのケアについて説明できる。

### D-1-3)-(7) 喪失体験をした女性とその家族へのケア

#### 学修目標

D-1-3)-(7)-①帝王切開分娩による喪失体験の特徴について説明できる。

D-1-3)-(7)-②帝王切開分娩をする女性と家族の喪失体験を予防するケアについて説明できる。

D-1-3)-(7)-③帝王切開分娩による喪失体験をした女性と家族へのケアについて説明できる。

D-1-3)-(7)-④ペリネイタルロスの特徴について説明できる。

D-1-3)-(7)-⑤ペリネイタルロスによる情緒・身体・認知・行動的症状について説明できる。

D-1-3)-(7)-⑥ペリネイタルロスに伴う悲嘆の心理過程について説明できる。

D-1-3)-(7)-⑦ペリネイタルロスを体験した女性と家族へのケアについて説明できる。

D-2 ハイリスク新生児の成熟・胎外生活適応の診断とケア  
ねらい 正常から逸脱した新生児のケアを学修し、異常時のケアについて学ぶ。

D-2-1) ハイリスク新生児の助産診断とケア

学修目標

- D-2-1)-①ハイリスク新生児における胎内環境の影響について説明できる。
- D-2-1)-②ハイリスク妊娠・分娩における影響について説明できる。
- D-2-1)-③種々の検査法について説明できる。
- D-2-1)-④出生直後の生理学的・行動学的变化について説明できる。
- D-2-1)-⑤ハイリスク新生児の出生時のケアについて説明できる。
- D-2-1)-⑥新生児蘇生について説明できる。
- D-2-1)-⑦新生児の成熟度について査定法を含め説明できる。
- D-2-1)-⑧24時間以内におこる生理的変化について説明できる。

D-2-2) ハイリスク新生児の胎外生活適応の助産診断とケア

学修目標

- D-2-2)-①ハイリスク新生児の各分類について説明できる。
- D-2-2)-②形態的成長について説明できる。
- D-2-2)-③第一呼吸、Apgarスコアについて説明できる。
- D-2-2)-④先天異常について説明できる。
- D-2-2)-⑤ハイリスク新生児の呼吸、循環、体温調節、消化器系、免疫系の逸脱について説明できる。
- D-2-2)-⑥ハイリスク新生児の精神・運動機能の発達と逸脱について説明できる。
- D-2-2)-⑦新生児からみた母子関係について説明できる。

D-2-3) 治療を必要とする新生児と家族へのケア

学修目標

- D-2-3)-①新生児に起こる疾患（新生児低血糖症、新生児一過性多呼吸、胎便吸引症候群、高ビリルビン血症）の病態が説明できる。
- D-2-3)-②疾患の症状およびその検査について説明できる。
- D-2-3)-③疾患およびその治療が新生児に及ぼす影響について理解できる。
- D-2-3)-④家族の不安やストレスに関するケアについて理解できる。

## D-2 ハイリスク新生児の成熟・胎外生活適応の診断とケア

ねらい 正常から逸脱した新生児のケアを学修し、異常時のケアについて学ぶ。

### D-2-1) ハイリスク新生児の助産診断とケア

学修目標

D-2-1)-①ハイリスク早期新生児における胎内環境の影響について説明できる。

D-2-1)-②ハイリスク妊娠・分娩における影響について説明できる。

D-2-1)-③種々の検査法について説明できる。

D-2-1)-④出生直後の生理学的・行動学的变化について説明できる。

D-2-1)-⑤ハイリスク新生児の出生時のケアについて説明できる。

D-2-1)-⑥新生児蘇生について説明できる。

D-2-1)-⑦新生児の成熟度について査定法を含め説明できる。

D-2-1)-⑧24時間以内におこる生理的変化について説明できる。

### D-2-2) ハイリスク新生児の胎外生活適応の助産診断とケア

学修目標

D-2-2)-①ハイリスク新生児の各分類について説明できる。

D-2-2)-②形態的成長について説明できる。

D-2-2)-③第一呼吸、Apgarスコアについて説明できる。

D-2-2)-④先天異常について説明できる。

D-2-2)-⑤ハイリスク新生児の呼吸、循環、体温調節、消化器系、免疫系の逸脱について説明できる。

D-2-2)-⑥ハイリスク新生児の精神・運動機能の発達と逸脱について説明できる。

D-2-2)-⑦新生児からみた母子関係について説明できる。

### D-2-3) 低出生体重児・早産児の助産診断とケア

学修目標

D-2-3)-①低出生体重児・早産児の定義と分類が説明できる。

D-2-3)-②低出生体重児・早産児の身体的特徴について説明できる。

D-2-3)-③低出生体重児・早産児の成長・発達の特徴について説明できる。

D-2-3)-④低出生体重児・早産児に起こりやすい合併症について説明できる。

D-2-3)-⑤低出生体重児・早産児の成長・発達を促進するケアについて説明できる。

D-2-3)-⑥低出生体重児・早産児の家族へのケアについて説明できる。

#### D-2-4) 低出生体重児・早産児の助産診断とケア

##### 学修目標

D-2-4)-①低出生体重児・早産児の定義と分類（出生体重、在胎週数）が説明できる。

D-2-4)-②低出生体重児・早産児の身体的特徴（外観、循環器系、免疫系、呼吸器系等）が説明できる。

D-2-4)-③低出生体重児・早産児に起こりやすい合併症（RDS、無呼吸発作、未熟児動脈管開存症等）について説明できる。

D-2-4)-④低出生体重児・早産児の異常の早期発見、予防のためのケアについて理解できる。

D-2-4)-⑤低出生体重児・早産児の発達を促進するケア（ディベロップメンタルケア）について理解できる。

D-2-4)-⑥低出生体重児・早産児の家族へのケアについて理解できる。



D-3 社会的ハイリスクのある妊産褥婦とその家族の助産診断とケア  
ねらい 社会的ハイリスクのある妊産褥婦とその家族の助産診断とケアについて学ぶ。

D-3-1) ハイリスク状態（妊娠の受容困難、胎児との愛着形成困難、被虐待経験者、未受診等）にある妊婦と家族の助産診断とケア

学修目標

D-3-1)-①妊婦や家族における社会的ハイリスク因子について説明できる。

D-3-1)-②社会的ハイリスクが妊娠に与える影響について説明できる。

D-3-1)-③社会的ハイリスクが分娩に与える影響について説明できる。

D-3-1)-④社会的ハイリスクが育児に与える影響について説明できる。

D-3-1)-⑤社会的ハイリスクを持った妊婦と家族に対するケアが理解できる。

**D-3 社会的ハイリスクのある妊娠褥婦とその家族の助産診断とケア**

ねらい　社会的ハイリスクのある妊娠褥婦とその家族の助産診断とケアについて学ぶ。

**学修目標**

D-3-①妊娠褥婦や家族における社会的ハイリスク因子について説明できる。

D-3-②未婚であることが妊娠、分娩、育児に与える影響について説明できる。

D-3-③未婚の妊婦とその家族へのケアについて説明できる。

D-3-④妊婦の未受診の要因について説明できる。

D-3-⑤未受診妊婦と家族へのケアについて説明できる。

D-3-⑥親役割獲得が困難な要因について説明できる。

D-3-⑦親役割獲得が困難な妊婦とその家族のケアについて説明できる。

## E. 多様な場とライフステージに応じた助産診断とケア

### E-1 地域母子保健

#### E-1-1) 母子保健

ねらい 母子保健の必要性について理解し、歴史的な経過と現状から今後の課題を学ぶ。

##### 学修目標

E-1-1)-①母子保健の意義が説明できる。

E-1-1)-②母子保健の変遷が説明できる。

E-1-1)-③地域の様々な場における助産師の活動について説明できる。

E-1-1)-④母子保健の現状と課題が説明できる。

#### E-1-2) 母子保健行政と地域母子保健活動

ねらい 母子保健行政を理解し、母子保健の専門職の一人である助産師が果たすべき役割と適切な支援の方法を学ぶ。

##### 学修目標

E-1-2)-①母子保健行政の仕組みを説明できる。

E-1-2)-②母子保健制度と母子保健施策を列挙できる。

E-1-2)-③母子保健行政の中で根拠法令に基づいた活動及びそれ以外の活動について助産師の役割を説明できる。

E-1-2)-④地域保健の中での助産における具体的な方法（子育て世代包括支援センター等）について説明できる。

#### E-1-3) 学校での母子保健活動

ねらい 学齢期にある人々に対する母子保健活動の意義を理解し、学校での母子保健活動の方法を学ぶ。

##### 学修目標

E-1-3)-①学校保健と母子保健の関係を説明できる。

E-1-3)-②学校の場での助産師の役割を説明できる。

E-1-3)-③学校関係者との話し合いの意義を説明できる。

## E. 多様な場とライフステージに応じた助産診断とケア

### E-1 地域母子保健

#### E-1-1) 母子保健

ねらい 母子保健の必要性について理解し、歴史的な経過と現状から今後の課題を学ぶ。

##### 学修目標

E-1-1)-①母子保健の意義が説明できる。

E-1-1)-②母子保健の変遷が説明できる。

E-1-1)-③地域の様々な場における助産師の活動について説明できる。

E-1-1)-④母子保健の現状と課題が説明できる。

#### E-1-2) 母子保健行政と地域母子保健活動

ねらい 母子保健行政を理解し、母子保健の専門職の一人である助産師が果たすべき役割と適切な支援の方法を学ぶ。

##### 学修目標

E-1-2)-①母子保健行政の仕組みを説明できる。

E-1-2)-②母子保健制度と母子保健施策を列挙できる。

E-1-2)-③母子保健行政の中で根拠法令に基づいた活動及びそれ以外の活動について助産師の役割を説明できる。

E-1-2)-④地域保健の中での助産における具体的な方法について説明できる。

E-1-2)-⑤今後必要とされる母子保健制度と施策を提案することができる。

#### E-1-3) 学校での母子保健活動

ねらい 学齢期にある人々に対する母子保健活動の意義を理解し、学校での母子保健活動の方法を学ぶ。

##### 学修目標

E-1-3)-①学校保健と母子保健の関係を説明できる。

E-1-3)-②学校の場での助産師の役割を説明できる。

E-1-3)-③学校関係者との話し合いの意義を説明できる。

E-1-3)-④学齢期にある人々に対する必要な健康教育を説明できる。

#### E-1-4) 地域でのネットワークつくりのための活動

ねらい 母子およびその家族の支援のための連携・ネットワークづくりの現状と必要性を理解し、地域での連携・ネットワークづくりの意義とあり方を学ぶ。

##### 学修目標

E-1-4)-①地域での連携・ネットワークをとるための関係機関や関係者などの現在の役割と特徴を説明できる。

E-1-4)-②地域での連携・ネットワークをとることが必要とされる母子およびその家族とその特徴を列挙することができる。

E-1-4)-③地域での連携・ネットワークをとることが必要とされる母子およびその家族の地域でのケアを説明できる。

#### E-1-5) 国際社会での母子保健活動

ねらい 国際社会での母子保健活動の実際を理解し、文化的背景をもった妊産婦とその家族に対するケアのあり方を学ぶ。

##### 学修目標

E-1-5)-①諸外国の母子保健の現状を説明できる。

E-1-5)-②在留外国人・在留邦人の母子保健の現状および必要な助産ケアが説明できる。

E-1-5)-③地域で生活する在留外国人・在留邦人に対するケアを説明できる。

E-1-5)-④国際社会での助産師の活動の実際を知り、地域や文化に合った助産師の役割を説明できる。

#### E-1-4) 地域でのネットワークつくりのための活動

ねらい 母子およびその家族の支援のための連携・ネットワークづくりの現状と必要性を理解し、地域での連携・ネットワークづくりの意義とあり方を学ぶ。

##### 学修目標

E-1-4)-①地域での連携・ネットワークをとるための関係機関や関係者などの現在の役割と特徴を説明できる。

E-1-4)-②地域での連携・ネットワークをとることが必要とされる母子およびその家族とその特徴を列挙することができる。

E-1-4)-③地域での連携・ネットワークをとることが必要とされる母子およびその家族の地域でのケアを説明できる。

E-1-4)-④地域での連携・ネットワークの実際を経験した事例から、その活動を概説できる。

#### E-1-5) 国際社会での母子保健活動

ねらい 国際社会での母子保健活動の実際を理解し、文化的背景をもった妊産婦とその家族に対するケアのあり方を学ぶ。

##### 学修目標

E-1-5)-①諸外国の母子保健の現状を説明できる。

E-1-5)-②在留外国人・在留邦人の母子保健の現状および必要な助産ケアが説明できる。

E-1-5)-③地域で生活する在留外国人・在留邦人に対するケアの計画立案ができる。

E-1-5)-④国際社会での助産師の活動の実際を知り、地域や文化に合った助産師の役割を説明できる。

## E-2 さまざまなライフステージにおけるウイメンズヘルスケア

### E-2-1) ライフサイクルにおける女性の身体的、心理社会的変化

ねらい ライフサイクルにおける女性の身体的・心理社会的変化について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-1)-①女性と男性の生殖器系の構造と機能について説明できる。

E-2-1)-②胎生期の性の分化と発達（ジェンダー・アイデンティティ）について説明できる。

E-2-1)-③第2次性徴について説明できる。

E-2-1)-④女性の性周期について説明できる。

E-2-1)-⑤女性の骨盤内の生殖器以外の臓器（消化器系、泌尿器系）及び筋肉、韌帯、血管などの構造と機能について説明できる。

E-2-1)-⑥閉経に伴う身体的変化について説明できる。

E-2-1)-⑦閉経以後の身体的変化について説明できる。

E-2-1)-⑧思春期・成熟期、更年期、老年期の心理社会的変化について説明できる。

### E-2-2) ライフサイクル各期の女性への支援

#### E-2-2)-(1) 思春期女性への支援

ねらい 思春期の女性の支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-2)-(1)-①思春期女性の健康教育（個人・集団）について計画・立案できる。

E-2-2)-(1)-②思春期の子どもと親へのサポート方法について説明できる。

E-2-2)-(1)-③思春期女性への支援における家庭・学校・地域との連携について説明できる。

#### E-2-2)-(2) 成熟期女性への支援

ねらい 成熟期女性の支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-2)-(2)-①成熟期女性への健康教育（集団・個人）を計画・立案できる。

E-2-2)-(2)-②成熟期女性への支援における家庭・職場・地域との連携について説明できる。

## E-2 さまざまなライフステージに応じたウイメンズヘルスケア

### E-2-1) ライフサイクルにおける女性の身体的、心理社会的変化

ねらい ライフサイクルにおける女性の身体的・心理社会的変化について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-1)-①女性と男性の生殖器系の構造と機能について説明できる。

E-2-1)-②胎生期の性の分化と発達（ジェンダー・アイデンティティ）について説明できる。

E-2-1)-③第2次性徴について説明できる。

E-2-1)-④女性の性周期について説明できる。

E-2-1)-⑤女性の骨盤内の生殖器以外の臓器（消化器系、泌尿器系）及び筋肉、韌帯、血管などの構造と機能について説明できる。

E-2-1)-⑥閉経に伴う身体的変化について説明できる。

E-2-1)-⑦閉経以後の身体的変化について説明できる。

E-2-1)-⑧思春期・成熟期、更年期、老年期の心理社会的変化について説明できる。

### E-2-2) ライフサイクル各期の女性への支援

#### E-2-2)-(1) 思春期女性への支援

ねらい 思春期の女性の支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-2)-(1)-①思春期女性の健康教育（個人・集団）について計画・立案し、実施できる。

E-2-2)-(1)-②思春期の子どもと親へのサポート方法について説明できる。

E-2-2)-(1)-③思春期女性への支援における家庭・学校・地域との連携について説明できる。

#### E-2-2)-(2) 成熟期女性への支援

ねらい 成熟期女性の支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-2)-(2)-①成熟期女性への健康教育（集団・個人）を計画・立案し、実施できる。

E-2-2)-(2)-②成熟期女性への支援における家庭・職場・地域との連携について説明できる。

#### E-2-2)-(3) 更年期・老年期女性への支援

ねらい 更年期・老年期女性への支援について学ぶ。

学修目標

E-2-2)-①更年期・老年期女性への健康教育（集団・個人）を計画・立案できる。

E-2-2)-②更年期・老年期女性への支援における家庭・職場・地域との連携について説明できる。

#### E-2-3) 就労女性への支援

ねらい 就労女性に対する母子保健活動の意義と現状を理解し、これからの社会に向けて必要な課題と助産師の役割について学ぶ。

学修目標

E-2-3)-①就労女性が活用できる制度と施策について説明できる。

E-2-3)-②就労女性に対する母子保健の現状について説明できる。

E-2-3)-③就労女性の健康に対する社会の役割について説明できる。

E-2-3)-④ワークライフバランスについて説明できる。

#### E-2-4) 世界におけるウイメンズヘルス

ねらい ウイメンズヘルスの性と生殖に関わる健康問題について学ぶ。

学修目標

E-2-4)-①世界の女性の性と生殖に関わる健康問題について説明できる。

#### E-2-5) 女性とパートナーへの支援

ねらい 性と生殖における女性とパートナーに対する支援について学ぶ。

学修目標

E-2-5)-①女性とパートナーをとり巻く性と生殖における健康問題に対し、援助について説明できる。

### E-2-2)-(3) 更年期・老年期女性への支援

ねらい 更年期・老年期女性への支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-2)-(3)-①更年期・老年期女性への健康教育（集団・個人）を計画・立案し、実施できる。

E-2-2)-(3)-②更年期・老年期女性への支援における家庭・職場・地域との連携について説明できる。

### E-2-3) 就労女性への支援

ねらい 就労女性に対する母子保健活動の意義と現状を理解し、これからの中社会に向けて必要な課題と助産師の役割について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-3)-①就労女性が活用できる制度と施策について説明できる。

E-2-3)-②就労女性に対する母子保健の現状について説明できる。

E-2-3)-③就労女性の健康に対する社会の役割について説明できる。

E-2-3)-④ワークライフバランスについて説明できる。

### E-2-4) 世界におけるウイメンズヘルス

ねらい ウイメンズヘルスの性と生殖に関する健康問題について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-4)-①世界の女性の性と生殖に関する健康問題について説明できる。

### E-2-5) 女性とパートナーへの支援

ねらい 性と生殖における女性とパートナーに対する支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-5)-①女性とパートナーをとり巻く性と生殖における健康問題に対し、援助計画を立案できる。

### E-2-6) 家族計画への支援

ねらい 家族計画に対する支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-6)-①各種の受胎調節法について説明できる。

E-2-6)-②対象に応じた適切な受胎調節法を選択できる。

E-2-6)-③対象の意思決定を支える援助技術を説明できる。

E-2-6)-④受胎調節指導が実施できる。

### E-2-7) 不妊の悩みをもつ女性・家族への支援（男性不妊も含む）

ねらい 不妊・不育の悩みをもつ女性・家族に対する支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-7)-①不妊・不育の検査や治療について説明できる。

E-2-7)-②不妊・不育の悩みをもつ女性・パートナーの自己決定への支援の必要性について説明できる。

E-2-7)-③不妊・不育の悩みをもつ女性・パートナーの自己決定への支援について説明できる。

### E-2-8) 遺伝にかかわる悩みを持つ女性・家族への支援

ねらい 遺伝にかかわる悩みをもつ女性・家族に対する支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-8)-①遺伝に関する基礎的内容（ヒトの染色体の分裂や構造、遺伝形式など）が説明できる。

E-2-8)-②代表的な染色体異常症候群の染色体異常（数的異常・構造異常）とその症状について説明できる。

E-2-8)-③代表的な遺伝性疾患（常染色体優性・劣性遺伝、X連鎖優性・劣性遺伝）とその症状が説明できる。

E-2-8)-④助産師と遺伝に関する専門家の連携の必要性が理解できる。

### E-2-6) 家族計画への支援

ねらい 家族計画に対する支援について学ぶ。

学修目標

E-2-6)-①各種の受胎調節法について説明できる。

E-2-6)-②対象に応じた適切な受胎調節法を選択できる。

E-2-6)-④対象の意思決定を支える援助技術について説明できる。

E-2-6)-⑤受胎調節指導が実施できる。

### E-2-7) 不妊の悩みをもつ女性・家族への支援（男性不妊も含む）

ねらい 不妊・不育の悩みをもつ女性・家族に対する支援について学ぶ。

学修目標

E-2-7)-①不妊・不育の検査や治療について説明できる。

E-2-7)-②不妊・不育の悩みをもつ女性・パートナーの自己決定への支援の必要性について説明できる。

E-2-7)-③不妊・不育の悩みをもつ女性・パートナーの自己決定への支援計画を立案できる。

### E-2-8) 遺伝にかかわる悩みを持つ女性・家族への支援

ねらい 遺伝にかかわる悩みをもつ女性・家族に対する支援について学ぶ。

学修目標

E-2-8)-①遺伝に関する基礎的内容（ヒトの染色体の分裂や構造、遺伝形式など）が説明できる。

E-2-8)-②代表的な染色体異常症候群の染色体異常（数的異常・構造異常）とその症状について説明できる。

E-2-8)-③代表的な遺伝性疾患（常染色体優性・劣性遺伝、X連鎖優性・劣性遺伝）とその症状が説明できる。

E-2-8)-④助産師と遺伝に関する専門家の連携の必要性が理解できる。

### E-2-9) 女性の性感染症とその予防への支援

ねらい 女性の性感染症とその予防への支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-9)-①性感染症の病態生理、治療について説明できる。

E-2-9)-②性感染症の動向について説明できる。

E-2-9)-③女性の性感染症の予防について説明できる。

E-2-9)-④女性の性感染症予防への支援について説明できる。

### E-2-10) 女性の生殖器系悪性腫瘍とその予防への支援

ねらい 女性の生殖器系悪性腫瘍とその予防への支援について学ぶ。

E-2-10)-①子宮がん、乳がんの病態生理、治療方法について説明できる。

E-2-10)-②子宮頸がんの検体採取の方法について説明できる。

E-2-10)-③子宮がん、乳がんの診断方法について説明できる。

E-2-10)-④生殖器系の悪性腫瘍の動向について説明できる。

E-2-10)-⑤子宮がん・乳がんの早期発見と予防への支援について説明できる。

### E-2-11) 月経障害とそれを持つ女性への支援

ねらい 月経障害とそれをもつ女性への支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-11)-①月経障害とそれに伴う健康障害について説明できる。

E-2-11)-②月経障害に対する治療や対処について説明できる。

E-2-11)-③月経障害を持つ女性へのセルフケア支援について説明できる。

### E-2-12) 暴力に関連する女性への支援

ねらい 暴力に関連する女性への支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-12)-①暴力を受けている・暴力を振るう女性の実態について説明できる。

E-2-12)-②暴力を受けている女性の保護に関する制度について説明できる。

E-2-12)-③暴力を受けている・暴力を振るう女性への支援について説明できる。

### E-2-9) 女性の性感染症とその予防への支援

ねらい 女性の性感染症とその予防への支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-9)-①性感染症の病態生理、治療について説明できる。

E-2-9)-②性感染症の動向について説明できる。

E-2-9)-③女性の性感染症の予防について説明できる。

E-2-9)-④女性の性感染症予防への支援計画を立案できる。

E-2-9)-⑤支援計画に基づき実施できる。

### E-2-10) 女性の生殖器系悪性腫瘍とその予防への支援

ねらい 女性の生殖器系悪性腫瘍とその予防への支援について学ぶ。

E-2-10)-①子宮がん、乳がんの病態生理、治療方法について説明できる。

E-2-10)-②子宮頸がんの検体採取の方法について説明できる。

E-2-10)-③子宮がん、乳がんの診断方法について説明できる。

E-2-10)-④生殖器系の悪性腫瘍の動向について説明できる。

E-2-10)-⑤子宮がん・乳がんの早期発見と予防への支援計画を立案できる。

### E-2-11) 月経障害とそれを持つ女性への支援

ねらい 月経障害とそれをもつ女性への支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-11)-①月経障害とそれに伴う健康障害について説明できる。

E-2-11)-②月経障害に対する治療や対処について説明できる。

E-2-11)-③月経障害を持つ女性へのセルフケア支援計画を立案できる。

E-2-11)-④支援計画に基づき実施できる。

### E-2-12) 暴力に関連する女性への支援

ねらい 暴力に関連する女性への支援について学ぶ。

#### 学修目標

E-2-12)-①暴力を受けている・暴力を振るう女性の実態について説明できる。

E-2-12)-②暴力を受けている女性の保護に関する制度について説明できる。

E-2-12)-③暴力を受けている・暴力を振るう女性への支援計画を立案できる。

## F 助産学実習

正常な経過にある、妊娠・分娩・産褥・新生児期の母子と家族を受け持ち、対象をウエルネスの視点で捉え助産診断過程を展開し分娩介助と助産ケアを実施する能力を修得し、正常からの逸脱予防のための助産ケアと緊急時の対応について理解する。また、地域における母子保健活動および他職種との連携・協働の必要性を理解し、各施設における助産管理に必要な基礎的姿勢を学ぶ。

### F-1 妊娠期の助産ケア

#### F-1-1) 妊娠期の助産ケア

ねらい 妊娠経過に伴う妊婦および胎児とその家族の状態の診断ができる、対象のニーズに応じた助産ケアと、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

##### 学修目標

F-1-1)-①妊娠の確定診断ができる。

F-1-1)-②妊婦の健康診査を実施し経過診断ができる。

F-1-1)-③胎児の健康状態をアセスメントできる。

F-1-1)-④妊婦と胎児およびその家族の状況に応じた健康教育の実践ができる。

F-1-1)-⑤妊婦と胎児およびその家族の状況に応じた出産準備教育を実践できる。

#### F-1-2) 正常からの逸脱予防ための妊娠期の助産ケア

ねらい 妊娠経過中のリスクをアセスメントし、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

##### 学修目標

F-1-2)-①妊娠中に起こりやすいマイナートラブルの予防と対処方法について保健指導を実践できる。

F-1-2)-②若年および高齢妊娠の身体的特徴および産科学的リスクをアセスメントし保健指導を実践できる。

F-1-2)-③妊婦貧血の予防のための食事や活動に関する保健指導を実践できる。

F-1-2)-④妊娠高血圧症候群の予防のための食事や活動に関する保健指導を実践できる。

F-1-2)-⑤GDM の予防のための食事や活動に関する保健指導を実践できる。

F-1-2)-⑥前期破水を予防するための保健指導を実践できる。

F-1-2)-⑦流産・早産を予防するための保健指導を実践できる。

F-1-2)-⑧過期妊娠を予防するための保健指導を実践できる。

## F.助産学実習

### F-1 妊娠期の助産ケア

#### F-1-1) 妊娠期の助産ケア

ねらい 妊娠経過に伴う妊婦および胎児とその家族の状態の診断ができる、正常からの逸脱を予防し、ニーズに応じたケアが実施できる。

##### 学修目標

F-1-1)-①妊娠の確定診断ができる。

F-1-1)-②妊婦の健康診査を実施し経過診断ができる。

F-1-1)-③胎児の健康状態をアセスメントできる。

F-1-1)-④妊婦と胎児およびその家族の状況に応じた健康教育の実施できる。

F-1-1)-⑤妊婦と胎児およびその家族の状況に応じた出産準備教育を実施できる。

#### F-1-2) 正常からの逸脱予防ための妊娠期の助産ケア

ねらい 非妊時の健康歴（生理・身体的側面、心理・社会的側面、発達的側面、文化的側面）からの情報をアセスメントし、妊娠経過中のリスクを予測し、妊娠経過が正常に経過するために逸脱予防のための保健指導と助産ケアが実践できる。

##### 学修目標

F-1-2)-①非妊時の健康歴から、母体の妊娠経過における生理・身体的側面から妊娠経過中のリスクを予測し、妊娠経過が正常に経過するため逸脱予防のための保健指導と助産ケアが実践できる。

F-1-2)-②非妊時の健康歴から、胎児の成長・発達的側面から妊娠経過中のリスクを予測し、妊娠経過が正常に経過するため逸脱予防のための保健指導と助産ケアが実践できる。

F-1-2)-③非妊時の健康歴から、心理・社会的側面から妊娠経過中のリスクを予測し、妊娠経過が正常に経過するため逸脱予防のための保健指導と助産ケアが実践できる。

F-1-2)-④非妊時の健康歴から、文化的側面から妊娠経過中のリスクを予測し、妊娠経過が正常に経過するため逸脱予防のための保健指導と助産ケアが実践できる。

## F-2 分娩期の助産ケア

### F-2-1) 分娩期の助産ケア

ねらい 分娩進行に伴う産婦及び胎児とその家族へ、安全安楽で対象のニーズに応じた助産ケアが実践できる。

#### 学修目標

F-2-1)-①産婦の状況に応じて、診察技法を選択し、分娩開始の診断ができる。

F-2-1)-②分娩進行状態の予測と診断ができる。

F-2-1)-③産婦・胎児のリスクアセスメントができる。

F-2-1)-④娩出力が正常に保てるようなケアを実践できる。

F-2-1)-⑤分娩期の胎児の健康状態の診断ができる。

F-2-1)-⑥分娩各期の産婦の健康状態（情動含む）のアセスメントができる。

F-2-1)-⑦産婦と家族の背景、妊娠期から分娩期の経過を踏まえ、ニーズに応じた予期的なケアを実践、評価ができる。

F-2-1)-⑧分娩が母子とその家族にとって、より良い体験となるようなケアを実践できる。

F-2-1)-⑨産婦と胎児の状況を判断して適切な時期に分娩準備ができる。

F-2-1)-⑩産婦と胎児の状況に適した分娩体位で安全に児の分娩介助ができる。

F-2-1)-⑪子宮収縮状態および胎盤剥離徵候を確認して、胎盤娩出ができる。

F-2-1)-⑫出生直後の新生児の状態から、新生児蘇生法アルゴリズムに沿ったケア・処置を選択し、実施できる。

### F-2-1) 分娩期の助産ケア

ねらい 分娩進行に伴う産婦及び胎児と家族の状態把握と正常からの逸脱を予測し、ニーズに応じたケアが実践できる。

#### 学修目標

F-2-1)-①産婦の状況に応じて、診察技法を選択し、分娩開始の診断ができる。

F-2-1)-②分娩進行状態の予知・診断ができる。

F-2-1)-③産婦・胎児のリスクアセスメントができる。

F-2-1)-④娩出力が正常に保てるようなケアを実施できる。

F-2-1)-⑤分娩期の胎児の健康状態の診断ができる。

F-2-1)-⑥分娩各期の産婦の健康状態（情動含む）のアセスメントができる。

F-2-1)-⑦産婦と家族の背景、妊娠期から分娩期の経過を踏まえ、ニーズに応じた予期的なケアを実施、評価ができる。

F-2-1)-⑧分娩が母子とその家族にとって、より良い体験となるようなケアを実施できる。

F-2-2) 正常からの逸脱予防ための分娩期の助産ケア  
ねらい 分娩経過中のリスクをアセスメントし、正常からの逸脱予防のための助産ケアと緊急時の対応について理解する。

#### 学修目標

F-2-2)-①分娩経過に沿った陣痛周期についてアセスメントし陣痛異常を予防する助産ケアが実施できる。

F-2-2)-②分娩経過に沿った体位回旋をアセスメントし異常を予防する助産ケアを説明できる。

F-2-2)-③分娩経過に沿った児頭進入をアセスメントし異常を予防する助産ケアを説明できる。

F-2-2)-④胎児機能不全についてアセスメントし正常性への助産ケアについて説明できる。

F-2-2)-⑤分娩遷延のリスク因子をアセスメントし分娩遷延を予防する助産ケアが実施できる。

F-2-2)-⑥分娩停止の場合の緊急時の対応について（産科処置・産科手術）について説明できる。

F-2-2)-⑦頸管・臍・会陰裂傷のハイリスク因子についてアセスメントし正常性への助産ケアが実施できる。

F-2-2)-⑧分娩時異常出血（大量出血・産科危機的出血）診断指標がわかり緊急時の対応について説明できる。

## F-2-2) 正常からの逸脱予防のための分娩期の助産ケア

ねらい 妊娠経過から予測される分娩期のリスクを予測し、分娩経過中のリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアと緊急時の対応が指導のもとでできる。

### 学修目標

F-2-2)-①妊娠経過から予測される分娩期のリスクを予測し、分娩経過中の母体の健康へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアと緊急時の対応が指導のもとでできる。

F-2-2)-②妊娠経過から予測される分娩期のリスクを予測し、分娩経過中の娩出力のリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアと緊急時の対応が指導のもとでできる。

F-2-2)-③妊娠経過から予測される分娩期のリスクを予測し、分娩経過中の胎児下降度・回旋のリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアと緊急時の対応が指導のもとでできる。

F-2-2)-④妊娠経過から予測される分娩期のリスクを予測し、分娩経過中の分娩所要時間のリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-2-2)-⑤妊娠経過から予測される分娩期のリスクを予測し、分娩経過中の胎児の健康へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアと緊急時の対応が指導のもとでできる。

F-2-2)-⑥妊娠経過から予測される分娩期のリスクを予測し、分娩経過中の胎児付属物へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアと緊急時の対応が指導のもとでできる。

F-2-2)-⑦妊娠経過から予測される分娩期のリスクを予測し、分娩経過中の産婦の心理的適応へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-2-2)-⑧妊娠経過から予測される分娩期のリスクを予測し、分娩経過中の産婦の社会的適応へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-2-3) 子宮収縮薬の使用（陣痛誘発・陣痛促進）が必要な産婦の助産ケア  
ねらい 子宮収縮薬の使用が必要となった産婦への助産ケアが理解できる。

学修目標

F-2-3)-①陣痛誘発・陣痛促進の適応となる状態（母体因子・胎児因子）をアセスメント  
できる。

F-2-3)-②子宮収縮薬使用時の留意点が理解できる。

F-2-3)-③子宮収縮薬使用時の産婦と胎児の観察と助産ケアの実際が理解できる。

F-2-3)-④子宮収縮薬を使用する産婦にとって、より良い体験となるための助産ケアの実  
際を理解できる。

F-2-4) 帝王切開術の適応となった産婦の助産ケア

ねらい 帝王切開を受ける産婦への助産ケアが理解できる。

学修目標

F-2-4)-①帝王切開術の適応となる状態（母体因子・胎児因子）をアセスメントできる。

F-2-4)-②帝王切開術の準備の実際を理解できる。

F-2-4)-③帝王切開術における母体及び新生児への助産ケアの実際を理解できる。

F-2-4)-④緊急帝王切開術における母体への助産ケアや救急処置への対応の実際を理解  
できる。

F-2-4)-⑤緊急帝王切開術における新生児への助産ケアや救急処置への対応の実際を理  
解できる。

F-2-4)-⑥帝王切開術の適応となった産婦にとって、より良い体験となるための助産ケア  
の実際を理解できる。

### F-2-3) 安全・安楽な分娩

ねらい 状況に応じた母子ともに安全で安楽な分娩介助ができる。

#### 学修目標

F-2-3)-①産婦と胎児の状況を判断して適切な時期分娩準備ができる。

F-2-3)-②産婦と胎児の状況に適した分娩体位で安全に児の分娩介助ができる。

F-2-3)-③子宮収縮状態および胎盤剥離徵候を確認して、胎盤娩出ができる。

F-2-3)-④出生直後の新生児の状態から、新生児蘇生法アルゴリズムに沿ったケア・処置を選択し、実施できる。

### F-3 産褥期の助産ケア

#### F-2-4) 産褥期の助産ケア

ねらい 褒婦・新生児の生理的な経過をアセスメントし、より健康な状態へと導くことができる。

##### 学修目標

F-2-4)-①褒婦、新生児の健康診査を実施し、経過のアセスメントができる。

F-2-4)-②産褥期の生理的な経過をアセスメントし、より健康な状態を促進するためのケアが実施できる。

F-2-4)-③褒婦のセルフケア能力を促し、退院後の生活を視野に入れたケアが実施できる。

F-2-4)-④産婦とその家族が新生児を新しい家族の一員として受け入れるための支援を実施できる（愛着形成促進の支援）。

### F-3-1) 産褥期の助産ケア

ねらい 褒婦・新生児が生理的な経過をアセスメントし、より健康な状態へと導くことができる。

#### 学修目標

F-3-1)-①褒婦、新生児の健康診査を実施し、経過のアセスメントができる。

F-3-1)-②産褥期の生理的な経過をアセスメントし、より健康な状態を促進するためのケアが実践できる。

F-3-1)-③褒婦のセルフケア能力を促し、退院後の生活を視野に入れたケアが提供できる。

F-3-1)-④産婦とその家族が新生児を新しい家族の一員として受け入れることができるための支援技術を実践できる（愛着形成促進の支援）。

### F-3-2) 正常からの逸脱予防ための産褥期の助産ケア

ねらい：産褥経過中のリスクをアセスメントし、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

#### 学修目標

F-3-2)-①産褥期に起こる正常経過からの逸脱の原因や症状について説明できる。

F-3-2)-②子宮復古不全のハイリスク因子についてアセスメントし正常性への助産ケアが実施できる。

F-3-2)-③産褥出血に対するハイリスク因子についてアセスメントし予防のための助産ケアが実施できる。

F-3-2)-④乳房トラブルのハイリスク因子をアセスメントし予防のための助産ケアが実施できる。

F-3-2)-⑤産後うつ病のリスク要因をアセスメントし予防のための心理・社会面のサポートについて説明できる。

F-3-2) 正常からの逸脱予防ための産褥期の助産ケア

ねらい 分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、産褥経過中のリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための産褥ケアが実践できる。

学修目標

F-3-2)-①分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、母体の健康へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-3-2)-②分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、退行性変化へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-3-2)-③分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、進行性変化へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-3-2)-④分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、マイナートラブルへのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-3-2)-⑤分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、身体的異常へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-3-2)-⑥分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、精神的異常へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-3-2)-⑦分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、褥婦の日常生活適応へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-3-2)-⑧分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、褥婦の心理的適応へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-3-2)-⑨分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、児への愛着へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

F-3-2)-⑩分娩経過から予測される産褥期のリスクを予測し、親役割行動へのリスクを助産診断し、正常からの逸脱予防のための助産ケアが実践できる。

#### F-4 新生児期の助産ケア

ねらい 新生児の胎外生活適応を助け、新生児に起こりやすい異常の早期発見のための助産ケアが実施できる。

##### 学修目標

F-4-①新生児の胎外生活への適応状況をアセスメントし、より円滑に適応するために必要なケアを実施できる。

F-4-②早期新生児期に起こりやすい異常を予防するためのケアを実施できる。

F-4-③早期新生児期に起こりやすい異常の早期発見のための健康診査が実施できる。

#### F-5 繼続して受け持つ実習

##### F-5-1) 繼続した助産過程の展開と助産ケア

ねらい 妊娠・分娩・産褥・育児期の各期を通した母子の身体的・心理的・社会的変化に関する理解を深め、母子とその家族を対象に、継続した助産過程の展開と助産ケアが実施できる。

##### 学修目標

F-5-1)-①継続した視点で、母子とその家族の状況をアセスメントしニーズを把握できる。

F-5-1)-②継続した視点で、妊娠期から育児期までの個別的な助産ケア計画が立案できる。

F-5-1)-③母子とその家族にとって妊娠・出産・育児期がより良い体験となるように継続した助産ケアを考察できる。

#### F-4 新生児期の助産ケア

ねらい 新生児の胎外生活適応を助けるための基礎的技術、及び新生児に起こりやすい異常の早期発見のためのケア技術を修得し、実施できる。

##### 学修目標

F-4-①新生児の胎外生活への適応状況をアセスメントし、より円滑に適応するために必要なケアを提供できる。

F-4-②早期新生児期に起こりやすい異常を予防するためのケアを実施できる。

F-4-③早期新生児期に起こりやすい異常の早期発見のための健康診査が実施できる。

#### F-5 継続して受け持つ実習

##### F-5-1) 周産期の助産計画

ねらい 妊娠・分娩・産褥・育児の各期を通した母子の身体的・心理的・社会的変化に関する理解を深め、母子とその家族を対象とした日常生活に応じた個別的な継続した助産計画を立案、実施、評価できる。

##### 学修目標

F-5-1)-①継続的な視点で状況に応じた個別的な助産計画が立案できる。

F-5-1)-②母子とその家族の状況に応じた助産ケアの実践と評価ができる。

F-5-1)-③母子とその家族にとって、妊娠・出産・育児期がより良い体験となるような援助を実践できる。

### F-5-2) 継続した助産ケアの実践

ねらい 妊娠期から生後1か月までの母子を継続して受けもち、正常経過の促進、主体的で安全安楽な周産期、愛着促進と親役割獲得のための助産ケアが実施できる。

#### 学修目標

F-5-2)-①継続して、対象とその家族とのコミュニケーションをはかり信頼を基盤とした人間関係を築くことができる

F-5-2)-②継続して、妊娠期から育児期を通じ母子が正常に経過するための助産ケアが実施できる。

F-5-2)-③継続して、妊娠期から育児期を通じ主体的で安全安楽な周産期にするための助産ケアが実施できる。

F-5-2)-④継続して、母子とその家族の愛着形成と親役割獲得のための助産ケアが実施できる。

F-5-2)-⑤継続して、新生児の成長発達と母親の状況に合わせた母乳育児ための助産ケアが実施できる。

F-5-2)-⑥継続して、新生児の成長発達を促すための育児方法について対象の状況に合わせた援助が実施できる。

### F-5-3) 継続した助産ケアと社会資源

ねらい 妊娠・分娩・産褥・育児に関する地域の社会資源についての理解を深め、保健指導の中で活用できる。

#### 学修目標

F-5-3)-①地域や生活の場における育児能力獲得と適応のための援助ができる。

F-5-3)-②母子とその家族の必要に応じて、必要な社会資源の情報提供ができる。

F-5-3)-③母子とその家族の必要に応じて、母子保健医療チームを想定し考察できる。

#### F-5-2) 出生直後からの生後2か月までの継続ケア

ねらい 出生直後から生後2か月までの乳児を継続して受けもち、成長・発達過程に関する理解を深め、健やかな成長・発達に向けての援助技術を実践できる。

##### 学修目標

F-5-2)-①新生児・乳児の身体的・心理社会的適応過程における健康レベルのアセスメントができる。

F-5-2)-②新生児・乳児の成長発達と母親の状況に合わせた母乳育児の援助が実践・評価できる。

#### F-5-3) 周産期における継続した助産ケアと社会資源

ねらい 妊娠・分娩・産褥・育児に関する地域の社会資源についての理解を深め、保健指導の中で活用できる。

##### 学修目標

F-5-3)-①地域や生活の場における育児能力獲得と適応のための支援ができる。

F-5-3)-②地域の社会資源を褥婦が活用できるように、紹介・調整が図れる。

#### F-5-4) 継続した助産ケアと情報提供

ねらい： 継続的なケアの実施のために、必要な母子保健医療チームについて考察でき、必要な情報提供ができる。

##### 学修目標

F-5-4)-①母子とその家族の必要に応じて母子保健医療チームを想定し考察できる。

F-5-4)-②母子とその家族の必要に応じて、必要な情報提供ができる。

F-5-4)-③産後の育児支援に関する社会資源の情報提供ができる。

## F-6 地域における助産ケア

### F-6-1) 母子保健活動

ねらい 地域における母子保健活動の実際を学び、助産師の役割について考えることができる。

#### 学修目標

F-6-1)-①地域の特徴を踏まえた母子保健サービスの策定について実際を通して理解できる。

F-6-1)-②地域母子保健活動のニーズの把握方法について実際を通して理解できる。

F-6-1)-③地域における妊産婦の母子保健事業の実際について理解できる。

F-6-1)-④地域における乳幼児の母子保健事業の実際について理解できる。

F-6-1)-⑤母子保健にかかわる各職種の役割と連携について実際を通して理解できる。

F-6-1)-⑥母子保健にかかわる各関係機関の役割と連携について実際を通して理解できる。

F-6-1)-⑦色々な場（保健所・保健センター・助産所など）の母子保健活動の実際から、助産師の役割を理解できる。

### F-6-2) 地域子育て支援

ねらい 地域における子育て支援の諸活動の実際を学ぶことができる。

#### 学修目標

F-6-2)-①地域における子育て支援の現状・意義・役割について実際を通して理解できる。

F-6-2)-②地域における子育て支援の地域活動のネットワークづくりの必要性と現状が理解できる。

F-6-2)-③地域子育て支援を行うにあたり必要な子育て環境や周囲の支援の現状把握について理解できる。

### F-6-3) 産後の家庭訪問

ねらい 産後の母子への家庭訪問指導の実際を学ぶことができる。

#### 学修目標

F-6-3)-①産後の母子への家庭訪問の目的を説明できる。

F-6-3)-②産後の母子への家庭訪問を通して地域における保健指導の基本を理解する。

## F-6 地域における助産ケア

### F-6-1) 母子の健康と地域

ねらい 母子の健康に影響を及ぼす地域の特性について理解する。

#### 学修目標

F-6-1)-①地域の特徴や母子保健サービスの内容（地域に代表的な産業、公共交通機関へのアクセス、人口集住の程度、合計特殊出生率、経済状況、家族構成など住民の生活様式など）を把握し、母子保健活動に反映できる。

F-6-1)-②地域は生活圏や医療圏の拡大に伴い、地域の社会資源を考える際に、自治体の枠をこえて考えることの必要性について修得できる。

### F-6-2) 母子保健活動の立案

ねらい 母子保健活動の企画、実施、評価、修正、変更案の作成にいたるまでのプロセスを理解し、実践を通して深めることができる。

#### 学修目標

F-6-2)-①母子保健にかかわる各関係機関の役割と連携方法を学び、理解を深めることができる。

F-6-2)-②地域母子保健ニーズの把握方法を学び、実践を通して理解を深めることができる。

F-6-2)-③地域母子保健活動のニーズはサービス利用者の住民とサービスの提供者である専門職両者の協働により、現状を「望ましい状態」に近づけることが保健活動の目的を明確にできる。

F-6-2)-④地域母子保健ニーズの施策化の方法を理解し、実践に活かすことができる。

F-6-2)-⑤母子保健活動事業の策定・改定のプロセスを通して、目標を設定することができる。

F-6-2)-⑥母子保健活動の企画・立案、見直しを行い、活動の成果の検討を行うことができる（両親学級、子育て支援など）。

F-6-2)-⑦地域活動をする際に必要とするリソース（資源）は、「ヒト・モノ・予算・情報」があり、それが還流する「しくみづくり」が理解できる。

F-6-2)-⑧事業が効果的に展開できるために、PDCAサイクルすなわちマネージメントサイクルを活用できるが理解できる。



### F-6-3) 母子保健活動と場の特徴

ねらい 助産所や母子保健センターなど母子保健活動を行う場の特徴を理解できる。

#### 学修目標

F-6-3)-①助産所における「助産業務ガイドライン」に基づいて、妊娠・出産・産後のケアができる。

F-6-3)-②助産所における地域母子保健活動の実際を通して、助産所の役割を理解することができる。

F-6-3)-③診療所・病院において、助産師が自律して活動できる助産外来・院内助産の実際を学び、実践を通して理解を深めることができる。

F-6-3)-④母子健康センター・市町村保健センター・保健所の各施設の役割を学び、実践を通して助産師の役割を理解できる。

F-6-3)-⑤「子育て世代包括支援センター業務ガイドライン」に基づく、産前産後ケア事業や子育て支援活動等の実際を通して、地域包括システムについて理解する事ができる。

### F-6-4) 産後の家庭訪問

ねらい 産後の家庭訪問指導の実際ができる。

#### 学修目標

F-6-4)-①新生児訪問指導の基本から応用までを理解し、実施できる。

F-6-4)-②褥婦訪問指導の基本から応用までを理解し、実施できる。

### F-6-5) 地域子育て支援

ねらい 地域子育て支援の諸活動の意義と実際を理解し、実践に繋げることができる。

#### 学修目標

F-6-4)-①地域子育て支援を行うにあたり、子育て環境や周囲の支援の現状を理解し、実施できる。

F-6-4)-②地域における子育て支援の現状と子育て支援の意義と役割を理解し実施できる。

F-6-4)-③地域における子育て支援の地域活動のネットワークづくりの必要性を理解し、現状がわかる。



## F-7 周産期に合併症のある妊産褥婦への助産ケア

### F-7-1) イリスク妊婦と助産ケア

ねらい ハイリスク妊婦（合併症妊婦、高齢妊婦、若年妊婦、胎児異常を妊娠した妊婦など）を受けもち、健康障害の診断と日常生活行動へのケアができる。

#### 学修目標

F-7-1)-①ハイリスク妊婦の健康逸脱のアセスメントと胎児の健康状態をアセスメントできる。

F-7-1)-②ハイリスク妊婦の日常生活行動に関連したケアや健康教育を実践できる。

F-7-1)-③ハイリスク妊婦の心理社会的側面に関するケアを実践できる。

F-7-1)-④ハイリスク妊婦とそのパートナーの役割取得への支援ができる。

F-7-1)-⑤出産時期、分娩施設、分娩様式等の意思決定への支援ができる。

### F-7-2) ハイリスク産婦と助産ケア

ねらい ハイリスク産婦（帝王切開を受ける産婦、吸引分娩・鉗子分娩を受ける産婦、遷延分娩となる産婦など）の健康状態逸脱のアセスメントと、適切なケアの実践を通してその方法を修得する。

#### 学修目標

F-7-2)-①ハイリスク産婦の心身の健康状態と胎児の健康状態のアセスメントができる。

F-7-2)-②分娩様式に関する産婦の心理状態を把握し、産婦が自己統制を失わないよう、サポートできる。

F-7-2)-③ハイリスク産婦の産痛の対処法について、産婦が選択できるよう説明し、実践できる。

F-7-2)-④分娩期の緊急時の対応について理解し、緊急に備えて実践を通して理解できる。

F-7-2)-⑤産婦とその家族を含めたケアを実践できる。

F-7-2)-⑥産婦とそのパートナーの親子の絆形成を促進するケアが実践できる。

F-7-2)-⑦助産師と医療者との連携のあり方について理解できる。

F-7-2)-⑧医療チームの一員として責任ある態度をとることができる。



### F-7-3) ハイリスク褥婦と助産ケア

ねらい ハイリスク褥婦（帝王切開を受けた褥婦、弛緩出血などによる多量出血を起こした褥婦、合併症のある褥婦など）の健康状態の助産診断と健康生活へのケアを、実施できる。

#### 学修目標

F-7-3)-①分娩終了時から継続的な心理的変化をアセスメントし、マタニティブルーや産後うつのケアを理解できる。

F-7-3)-②合併症等の治癒状況を含めた産褥期の回復過程をアセスメントし、健康状態回復へのケア計画を立案し、実施できる。

F-7-3)-③母子の状況に応じた親役割取得過程を促進する援助が実施できる。

F-7-3)-④退院後の生活を見据えた健康教育を理解し、実施できる。

F-7-3)-⑤サポート体制をアセスメントし、利用可能な社会資源を活用できる。

### F-7-4) ハイリスク新生児と助産ケア

ねらい ハイリスク新生児(早産児、低出生体重児、双胎、新生児仮死など)の成熟度と胎外生活適応過程をアセスメントし、成長発達へのケア計画を立案、実施できる。

#### 学修目標

F-7-4)-①ハイリスク新生児の成熟度、形態的成長、および胎外適応についてアセスメントできる。

F-7-4)-②ハイリスク新生児の精神・運動機能の発達と逸脱状況についてアセスメントできる。

F-7-4)-③アセスメントに基づき、早期新生児期の生理的経過を順調に促すケア計画を立案、実施できる。

F-7-4)-④その子なりの成長・発達を促すためのディベロップメンタルケアを実施できる。

F-7-4)-⑤ハイリスク新生児と母親の状況に合わせた母乳哺育を実施できる。

F-7-4)-⑥母子分離状態になっている親の心理状況についてアセスメントし、親子の絆形成の促進のケアが実施できる。

## F-7 助産管理

### F-7-1) 助産業務管理

ねらい 助産管理と助産業務管理の実際について理解する。

#### 学修目標

F-7-1)-①助産業務管理の基本過程（PDCA サイクル）の実際について理解できる。

F-7-1)-②基本資源（有形資源：人・物・資金、無形資源：情報・知識・時間）の管理の実際について理解できる。

F-7-1)-③助産業務の管理体制（業務分担・助産録や証明書類の管理など）について実際を通して理解できる。

F-7-1)-④助産サービスのマネジメントや評価について実際を通して理解できる

F-7-1)-⑤医療機関間相互における周産期医療の連携協働システム（病病連携・病診連携）の実際をについて理解できる。

F-7-1)-⑥管理者に求められるコミュニケーション能力について実際を通して理解できる。

### F-7-2) 助産管理とリスクマネジメント

ねらい 助産業務管理におけるリスクマネジメントの実際について理解する。

#### 学修目標

F-7-2)-①周産期医療事故の対応と対策の必要について理解できる。

F-7-2)-②対象が安全に妊娠・分娩・産褥期までを過ごせるためのマネジメントの実際を理解できる。

F-7-2)-③リスクマネジメントを運用することの重要性について理解できる。

F-7-2)-④感染に対するスタッフ教育、感染予防対策の実際について理解できる。

F-7-2)-⑤災害時の基本原則にしたがった対応の実際について理解できる。

## F-8 助産管理実習

### F-8-1) 助産業務管理

ねらい 助産管理と助産業務管理の実際について理解を深める。

#### 学修目標

F-8-1)-①助産業務管理の基本課程（PDCA サイクル）を理解し、実習で役立てることができる。

F-8-1)-②周産期医療の連携・協働システムにおいては、病病連携、病診連携といった、医療機関の間での連携の実際を理解できる。

F-8-1)-③助産サービスのためのリソース（ヒト・モノ・カネ・情報・しくみ）の配分・配送する管理のしくみの実際が理解できる。

F-8-1)-④助産業務管理のしくみの実際を理解できる。

F-8-1)-⑤管理者に求められるコミュニケーション能力の実際が理解できる。

### F-8-2) 周産期管理システム

ねらい 周産期管理システムにおける管理の実際について理解を深めることができる。

#### 学修目標

F-8-2)-①MFICU・NICU・GCU の管理の実際が理解できる。

F-8-2)-②母体搬送システムにおける都道府県の役割、地域の役割の実際が理解できる。

F-8-2)-③オープンシステムと周産期医療連携システム構築の必要性が理解できる。

### F-8-3) 助産管理とリスクマネジメント

ねらい 助産業務管理におけるリスクマネジメントの実際について学ぶことができる。

#### 学修目標

F-8-3)-①周産期医療事故の対応と対策の必要について理解できる。

F-8-3)-②対象が安全に妊娠・分娩・産褥期までを過ごせるためのマネジメントの実際を理解できる。

F-8-3)-③リスクマネジメントすることの重要性について理解できる。

F-8-3)-④感染に対するスタッフ教育、感染予防対策の実践を通して理解できる。

F-8-3)-⑤災害時の基本原則にしたがった対応の実際が理解できる。

### F-7-3) 周産期管理システム

ねらい 周産期管理システムにおける管理の実際について理解する。

学修目標

F-7-3)-①MFICU・NICU・GCU の管理の実際が理解できる。

F-7-3)-②母体搬送システムにおける都道府県の役割、地域の役割の実際が理解できる。

F-7-3)-③オープンシステムと周産期医療連携システム構築の必要性が理解できる。

### F-7-4) 病院・診療所・助産所における助産管理

ねらい 病院・診療所・助産所のいざれかの施設における助産管理の実際について理解を深めることができる。

学修目標

F-7-4)-①施設における助産師の役割と他部門との連携の実際について理解できる。

F-7-4)-②快適な出産環境のための設備管理の実際について理解できる。

F-7-4)-③多種多様な医療従事者の管理体制と協働の実際について理解できる。

F-7-4)-④周産期医療情報センターの管理の実際について理解できる。

F-7-4)-⑤周産期医療における診療所の役割と助産サービス管理の実際について理解できる。

F-7-4)-⑥助産所や出張分娩介助における分娩管理の実際について理解できる。

F-7-4)-⑦開業の多様な機能と役割の実際について理解できる。

F-7-4)-⑧助産所や院内助産における「助産業務ガイドライン」に基づいた助産ケアの実際が理解できる。

#### F-8-4) 病院における助産管理

ねらい 4.病院における助産サービス管理の実際について理解を深めることができる。

##### 学修目標

F-8-4)-①病院における役割分担と他部門との連携が理解できる。

F-8-4)-②快適な出産環境（アメニティ）のための設備管理（産科病棟・MFICU・NICU・後方病室・病室・陣痛室・分娩室・外来など）の実際を通して理解できる。

F-8-4)-③医療従事者の管理（助産師に期待される役割・看護体制の管理・スタッフの育成・母体搬送に伴う他職種との連携）を理解できる。

F-8-4)-④周産期医療情報センターの管理（周産期救急情報システム・ドクターカー）の実際から理解できる。

#### F-8-5) 助産所における助産管理

ねらい 助産所における助産サービス管理の実際を学ぶ事ができる。

##### 学修目標

F-8-5)-①管理・運営と医療連携の実際を理解できる。

F-8-5)-②開業の多様な機能（外来・相談機能、入院機能、出張・訪問による支援、地域に向けての活動など）と役割について実践を通して理解できる。

F-8-5)-③助産所や出張介助における分娩管理（正常からの逸脱の予防と早期発見と適切な時期の照会・緊急搬送、複数助産師による分娩介助、助産録とその管理、分娩介助のための物品管理）の実際から理解を深めることができる。

#### F-8-6) 診療所における助産管理

ねらい 診療所における助産サービス管理の実際を学ぶ事ができる。

##### 学修目標

F-8-6)-①周産期医療における診療所の役割と助産サービス管理（医師・助産師の業務分担のための助産師の教育、妊婦・産婦に対するサービス管理、母子に対するサービス管理、）の実際を通して理解できる。

## G. 助産学研究

### G-1 助産学研究における法と倫理

ねらい：助産師としての基本的能力である研究能力の基盤となる、研究に係る法と倫理について学ぶ。

学修目標：

G-1-①研究における法と倫理について説明できる。

G-1-②活動領域・目的に応じた適切な調査・研究方法と倫理的配慮を説明できる。

### G-2 助産学研究を通した助産実践の探求

ねらい：助産実践の質の向上、経験知を可視化するために研究を遂行する意欲を高め、基礎的素養を身に付ける。

学修目標：

G-2-①研究は助産学の発展や対象の利益を目的として行われ、助産実践の探究、向上のために必要であることを説明できる。

G-2-②助産実践上の問い合わせを出すことができる。

G-2-③助産実践上の問い合わせを包括的なデータベースに照会をかけ問題に関連した研究を抽出し適切に分析することができる。

### G-3 研究成果の活用

ねらい：研究成果を正しく解釈し、活用する方法を学ぶ。

学修目標：

G-3-①既存の研究結果や知見を研究及び実践に活用する方法について説明できる。

## G. 助産学研究

ねらい 助産学研究の実践を通して、助産実践の改善・向上と助産学の発展に資するために研究を遂行する意欲と基礎的研究力を有する。

### G-1 助産学研究における法規範と倫理

ねらい：実施する研究に係る法令と指針を理解し、それらを遵守して研究に取り組む。

学修目標：

G-1-①実施する研究に係る法令と指針について理解できる。

G-1-②研究の実施、対象者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明できる。

G-1-③正義性、社会性、誠実性をもち、法と倫理を遵守して研究に取り組む態度ができる。

### G-2 助産学研究の実践

ねらい 研究のプロセスを通して、知識や技能を総合的に活用して問題・課題を解決する能力を培う。

学修目標

G-2-①科学的根拠に基づいた助産活動の評価と検証の必要性を説明できる。

G-2-②助産の臨床課題で明らかになった問い合わせに、包括的なデータベースに照会をかけ問題に関連した研究を理解し、問題と現在の知識の批判的分析ができる。

G-2-③臨床実践上の問題を特定できる。

G-2-④研究倫理に配慮した研究計画を立案できる。

G-2-⑤研究計画に基づき、研究を遂行できる。

G-2-⑥適切なデータ収集・分析手法を用いることができる。

G-2-⑦助産実践の改善のために助産介入のアウトカム分析に新しい知識を活用できる。

G-2-⑧研究の各プロセスを適切に記録し、結果を考察できる。

G-2-⑨研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答ができる。

G-2-⑩研究の成果を成果物もしくは学位論文としてまとめることができる。

G-2-⑪研究成果物等を公開発表することができる。

G-2-⑫研究は助産学・医療の発展や、対象の利益のために行われるものであることを説明できる。

G-2-⑬助産師が介入によって成果を上げることができるケア開発のための助産学研究を説明できる。

現行の助産師教育（1年以上・28単位以上）におけるコアカリキュラム 2018（案）  
公益社団法人全国助産師教育協議会 現行教育コアカリ合同プロジェクト

担当理事：村上明美・久保田君枝

メンバー：高田昌代・秋田浩子・倉本孝子

北川眞理子・太田尚子・小笹幸子・杉下佳文・名取初美

大学院における助産師教育のモデル・コアカリキュラム 2018（案）

公益社団法人全国助産師教育協議会教育検討委員会教育推進班

担当理事：久保田君枝

編集・執筆：（執筆順） 北川眞理子・小 笹 幸子・太田尚子・名取初美・杉下佳文  
久保田君枝・谷口通英・高田昌代・大原良子・渡邊典子

